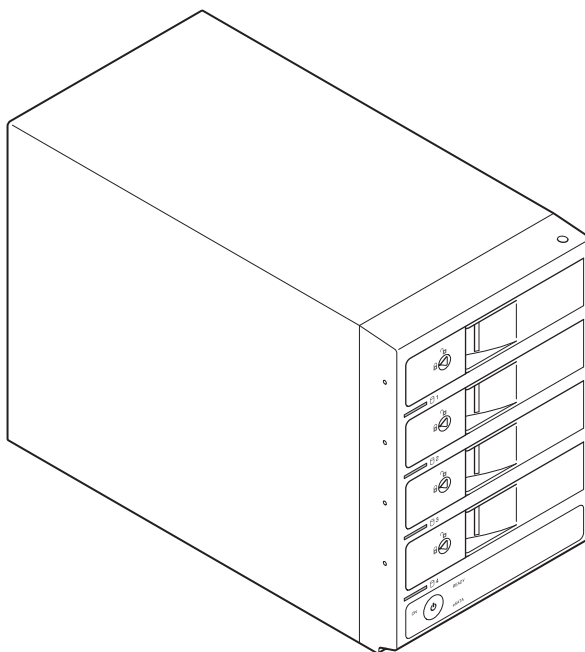
# 裸族のインテリジェントビルNAS

## CRIB35NAS
## 取扱説明書

# はじめに

このたびは本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。ご使用の前に、この取扱説明書を必ずお読みください。また、お読みになったあとも大切に保管し、必要に応じてご活用ください。

## 安全上のご注意＜必ず守っていただくようお願いいたします＞

**【記号の意味】**

・ご使用の前に、安全上のご注意をよくお読みの上、正しくご使用ください。

・この項に記載しております注意事項、警告表示には、使用者や第三者への肉体的危害や財産への損害を未然に防ぐ内容を含んでおりますので、必ずご理解の上、守っていただくようお願いいたします。

**■ 次の表示区分に関しましては、表示内容を守らなかった場合に生じる危害、または損害程度を表します。**

| 区分 | 内容 |
|---|---|
| ⚠警告 | この表示で記載された文章を無視して誤った取り扱いを行うと、人が死亡または重傷を負う可能性があります。 |
| ⚠注意 | この表示で記載された文章を無視して誤った取り扱いを行うと、人が障害または物的障害を負う可能性があります。 |

| 記号 | 意味 | 記号 | 意味 |
|---|---|---|---|
| | 注意指示事項 | | 禁止（禁止行為） |
| | 分解禁止 | | 電源プラグを抜く |
| | 接触禁止 | | 濡れた手での接触禁止 |
| | 浴室禁止 | | 水濡禁止 |

### ⚠警告

**■煙が出る、異臭がする、異音が出る**

煙が出る、異臭がする、異音が出るときは、すぐに機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてお買い上げの販売店へ修理を依頼されるか、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

**■機器の分解、改造をしない**

機器の分解、改造をすることは火災や感電の原因となります。点検および修理は、お買い上げの販売店へ依頼されるか、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

**■機器の内部に異物や水を入れない**

筐体のすきまから内部に異物や水が入った場合は、すぐに機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてお買い上げの販売店へ修理を依頼されるか、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

**■湿度の高い場所、水気のある場所では使用しない**

台所や風呂場など、湿度の高い場所、水気のある場所では使用しないでください。感電や機器の故障、火災の原因となります。

**■不安定な場所に機器を置かない**

ぐらついた台の上や傾いた場所、不安定な場所に機器を置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因になることがあります。そのまま使用されると火災の原因になる可能性があります。

## ⚠警告

**■電源の指定許容範囲を守る**

機器指定の電圧許容範囲を必ず守ってください。定格を越えた電圧での使用は火災や感電、故障の原因となります。

**■電源コード、接続コードの取り扱いについて**

電源コード、接続コードの上に機器本体や重い物を置いたり、釘等で固定しないでください。
コードが傷んで芯線が露出したり断線するなどして火災や感電、故障の原因につながります。
また、足を引っかけるおそれのある位置等には設置しないでください。

**■雷が鳴り出したら電源コードに触れない**

感電したり火災の原因となります。

**■濡れた手で機器に触れない**

濡れたままの手で機器に触れないでください。感電や故障の原因になります。

## ⚠注意

**■設置場所に関しての注意事項**

以下のような場所に置くと火災や感電、または故障の原因となります。

- 台所、ガスレンジ、フライヤーの近くなど、油煙がつきやすいところ
- 浴室、温室、台所など、湿度の高いところ、雨や水しぶきのかかるところ
- 常に5℃以下になる低温なところや、40℃以上の高温になるところ
- 火花があたるところや、高温度の熱源、炎が近いところ
- 有機溶剤を使用しているところ、腐食性ガスのあるところ、潮風があたるところ
- 金属粉、研削材、小麦粉、化学調味料、紙屑、木材チップ、セメントなどの粉塵、ほこりが多いところ
- 機械加工工場など、切削油または研削油が立ち込めるところ
- 食品工場、調理場など、油、酢、揮発したアルコールが立ち込めるところ
- 直射日光のあたるところ

**■長期間使用しない場合は接続コードを外す**

長期間使用しない場合は、接続コードを外して保管してください。

**■機器を移動するときは接続コード類をすべて外す**

機器を移動する際は、必ず接続コードをすべて外して行ってください。接続したまま移動すると、コードの断線等の原因となります。

**■小さいお子様を近づけない**

お子様が機器の上に乗ったりしないよう、ご注意ください。けが等の原因になることがあります。

**■静電気にご注意ください**

本製品は精密電子機器ですので、静電気を与えると誤動作や故障の原因となります。

# はじめに

## 制限事項<必ずお読みください>

- 本製品の使用によって生じた直接、間接の損害、データの消失等については、弊社では一切その責を負いません。
- 本製品は、医療機器、原子力機器、航空宇宙機器など、人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備、機器での使用は意図されておりません。このような環境下での使用に関しては、一切の責任を負いません。
- ラジオやテレビ、オーディオ機器の近くでは誤動作することがあります。必ず離してご使用ください。
- 本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内での使用を前提としており、日本国外で使用された場合の責任は負いかねます。
- 本製品は3.5インチのSATA HDD専用です。パラレルATA（IDE）HDDは使用できません。
- 本製品のデータ冗長化機能について：
  本製品のデータ冗長化機能は、冗長化する機能を提供するものであって、データの保護を保証するものではありません。あらかじめご了承ください。

## ご使用の前に

- 本書の内容等に関しましては、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容に関しましては、万全を期して作成しておりますが、万一ご不審な点や誤りなど、お気づきのことがありましたら、弊社サポートセンターまでご連絡いただきますようお願いします。
- 「Windows」は Microsoft Corporation の登録商標です。
- 「Mac」、「iTunes」は Apple Inc. の登録商標です。
- 記載の各商品、および製品、社名は各社の商標ならびに登録商標です。
- 改良のため、予告なく仕様を変更することがあります。

### ■イラスト・表示画面について

本書内に記載されているイラストや表示画面は、実際の物と多少異なる場合があります。
あらかじめご了承ください。

**裸族坊やセンちゃんからのお願い**

裸族シリーズは、内蔵用HDDをケースに入れず、むき出し=「裸」のまま手軽に使用することを想定して作られています。
しかし、内蔵用HDDは本来とてもデリケートな精密機器です。
特に静電気やホコリに弱いので、必ず静電気の除去作業を行ってからHDDを取り扱うようお願いします。
また、HDDを保管する時は高温多湿を避け、静電防止袋等をご使用の上、大切に保管していただくようお願いします。

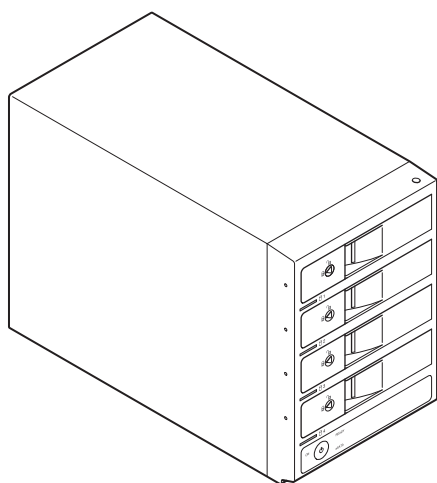
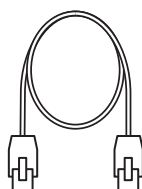
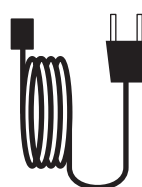
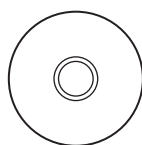
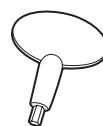
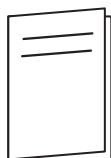
# もくじ

## 製品仕様

■商　　品　　名：裸族のインテリジェントビルNAS
■型　　　　　番：CRIB35NAS
■インターフェイス
　・デバイス側：SATA Ⅰ/Ⅱ/1.5Gbps / 3.0Gbps
　・ホスト側：1000BASE-T
■LANコネクタ形状：RJ-45
■外付けHDD接続用コネクタ：USB2.0/eSATA
※USB2.0/eSATAコネクタは周辺機器接続専用です。PCとの接続はできません。
■冷却ファン仕様：6cm角×2　2,500rpm±15% ノイズレベル13.8dB
※冷却ファン単体での計測値
■寸　　　　　法：幅130mm×高さ185mm×奥行260mm（突起部含まず）
■重　　　　　量：約 3,280g（ドライブ含まず）
■温　度・湿　度：温度5 ～ 35℃・湿度20 ～ 80%
（結露しないこと、接続するPCの動作範囲内であること）
■電　源　仕　様：［入力］AC100V ～ 240V　［出力］150W

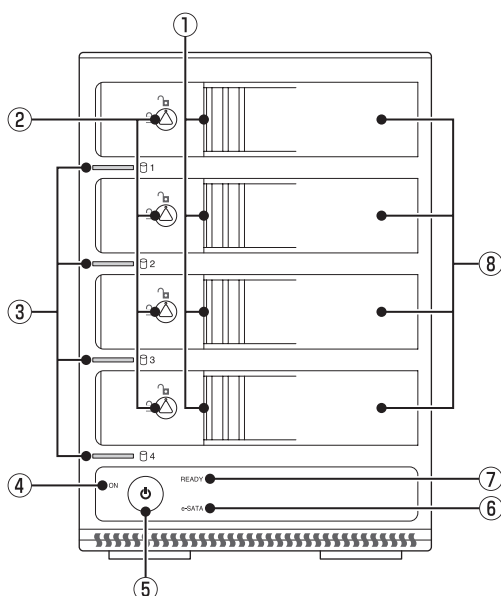
## 製品内容

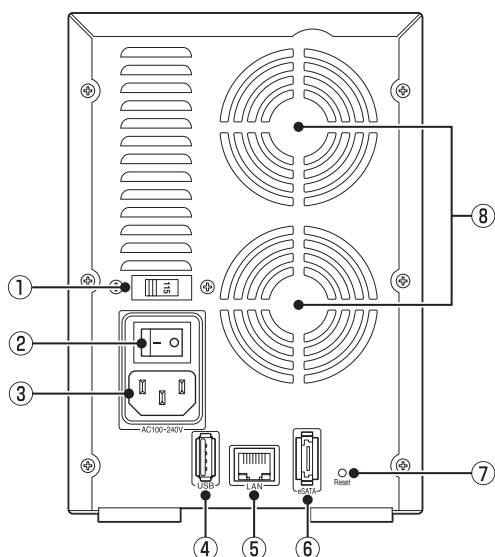
□CRIB35NAS本体

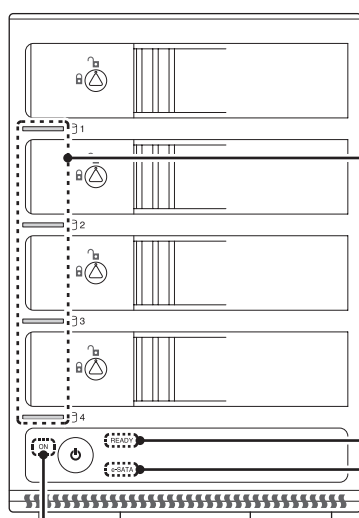
※内蔵するHDDは別途ご用意ください。

□専用LANケーブル

□専用ACケーブル

□ユーティリティ
CD-ROM

□ドアロックキー

□取扱説明書／
保証書（本書）

## 各部の名称

〈前面〉

〈背面〉

〈前面〉

① 取出し用ラッチ
② ドアロック
③ ステータスLED
④ パワー LED
⑤ フロント電源ボタン
⑥ eSATA LED
⑦ READY LED
⑧ フロントドア

〈背面〉

① 電圧切替スイッチ※
※使用しません
② メイン電源スイッチ
③ ACコネクタ
④ USBコネクタ
⑤ LANコネクタ
⑥ eSATAコネクタ
⑦ リセットボタン
⑧ 6cm冷却ファン

### ■本体の動作と各LEDの状態

【ステータスLED】
- HDDを挿入すると青色に点灯します。
- HDDにアクセスするとピンク色に点滅します。

【READY LED】
- 点灯：動作中
- 点滅：起動、再起動、シャットダウン、リビルド処理中
- 消灯：シャットダウン完了、電源OFF待ち

※点灯および点滅時は電源を切らないでください。データの破損や故障の原因となるおそれがあります。

【eSATA LED】
- eSATA HDDが接続されている時に点灯します。

【パワー LED】
- 電源ONで青色に点灯します。

# 対応HDD

## ■内蔵HDD

- 3.5インチのSATA HDD（SATA I / II / 3.0 / 1.5Gbps / 3.0Gbps / 6Gbps）

※本製品はSATA HDD専用です。PATA（IDE）HDDは接続できません。
※本製品はSATA 6GbpsのSATA HDDが接続可能ですが、インターフェイス側がSATA 3.0Gbpsのため、転送速度は転送速度はそれぞれのインターフェイスの上限速度となります。
　また、PCとのデータのやり取りはLANを経由して行われるため、1.5Gbps / 3.0Gbps / 6Gbpsともに、スピードにおける優劣はありません。
※4TBまでのHDDで動作確認を行っております。（2012年12月現在）
　対応HDDの最新情報はサポートセンターにお問い合わせください。
※製品の構造上、出し入れの際、HDDに微細な傷がつく場合があります。

## ■外付けHDD

- eSATA仕様の外付けHDD
- USB2.0仕様の外付けHDD（PCからの認識がUSB大容量記憶デバイスとして認識されるもの）

※多段タイプの外付けHDDはサポート対象外になります。

# 対応機種

## ■Windows

- LANインターフェイスを搭載し、TCP/IP通信が正常に動作するPC/AT互換機

## ■Mac

- LANインターフェイスを搭載し、TCP/IP通信が正常に動作するMac

# 対応OS

## ■Windows

- Windows 8（32bit/64bit）、Windows 7（32bit/64bit）、Windows Vista（32bit/64bit）
  Windows XP（32bit）

※Windows 95／Windows 98／Windows 98SE／Windows 3.x／Windows NT／Windows Me／Windows 2000では動作しません。
※WindowsUpdateでOSを最新の状態（Service Pack含む）にしてご使用ください。
　最新ではない環境での動作はサポート対象外となります。

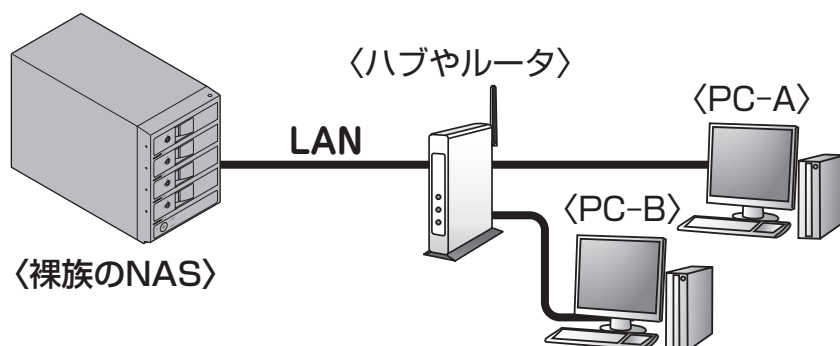
## ■Mac

- Mac OS 10.8、10.7.4、10.6.8、10.5.8（2012年12月現在）

| ⚠注意 | 本製品の初回設定にはWindows PCが必要です。<br>初期設定完了後は、Macでの使用および設定も可能になります。 |
| --- | --- |

**※製品の性質上、すべての環境、組み合わせでの動作を保証するものではありません。**

## NASって何なの？

NASは「**N**etwork **A**ttached **S**torage」の略称で「ナス」と呼び、ネットワークに直接接続する記憶装置のことです。
例えば、ファイルを共有する場合、〈PC-A〉に置いてあるファイルは〈PC-A〉が起動中に、〈PC-B〉に置いてあるファイルは〈PC-B〉が起動中にしか参照できません。
NASを導入すれば、NASに置いてあるファイルは常に両方のPCから参照することが可能になりますので、共有されている別のPCを起動する手間が省けます。

## 本製品を使えるようにするまでの準備

Step 1 ➡ Step 2 ➡ Step 3 ➡ Step 4 ➡ Step 5

## Step 1　本製品にHDDを組み込む

### ▶P.12「HDDの組み込み方法」

・本製品はHDDを内蔵しないと動作しませんので、最初にHDDを組み込みます。

| ⚠注意 | 内蔵するHDDにデータが保存されている場合、本製品に組み込むと中のデータはすべて消去されてしまいますのでご注意ください。<br>他の環境で利用していたHDDの中のデータを、そのまま本製品で使うことはできません。 |
|---|---|

## Step 2　LANにつなごう

### ▶P.16「接続方法」

・初期設定は『IPの自動取得』に設定されています。通常、IPはインターネット接続用ルーターから自動的に配布されますが、設定で配布されないようになっている場合があります。
詳しくはお使いのインターネット接続用ルーターの設定をご確認ください。
・IPを固定する方法もありますが、初回の起動時には、インターネット接続用ルーターがIPを自動取得するための配布を行っている必要があります。

## Step 3　設定画面から初期設定を行いましょう

### ▶P.22「設定画面の開き方」

・ブラウザで設定画面を開き、最初に初期設定を行います。
ここで、内蔵したHDDをどのように使うかを設定してもいいですし、あとで決めることも可能です。
→※P.56「ストレージ」

## Step 4　共有を作ろう

### ▶P.38「共有」

・内蔵したHDDは、フォーマットしてRAID構成を設定しただけでは外部からアクセスできません。
共有フォルダを設定して、データを外部から保存できる共有フォルダを作成する必要があります。

## Step 5　ネットワークドライブとしてマウントしよう

### ▶P.84「ネットワークドライブのマウント」

・ネットワークドライブとしてマウントすると、あたかもPC内蔵のHDDのように、マイコンピュータからアクセスすることができるようになります。必須ではありませんが便利な機能ですので、ネットワークドライブとしてマウントすることをお勧めします。

## もっと多彩な使い方

### 設定の変更や状態を確認したい

▶P.30「システム」

### ユーザーやグループによってアクセスできる場所を制限したい

▶P.48「アカウント」

### メディアサーバーとして使いたい

▶P.74「メディア」

### 設定の保存や復元、ファームウェアのアップデートを行いたい

▶P.80「メンテナンス」

# HDDの組み込み方法

## ■HDDを接続する前に

| ⚠警告 | HDDを接続するまで、電源プラグはコンセントから抜いておいてください。<br>コンピュータの電源が入った状態で作業を行うと、感電などの事故や、故障の原因となります。 |
| --- | --- |

- HDD接続の際には、静電気に十分注意してください。
  人体に滞留した静電気が精密機器を故障させる原因になることがあります。
  作業の前に、金属のフレームなどに触れて放電するか、静電気防止バンドなどをお使いください。

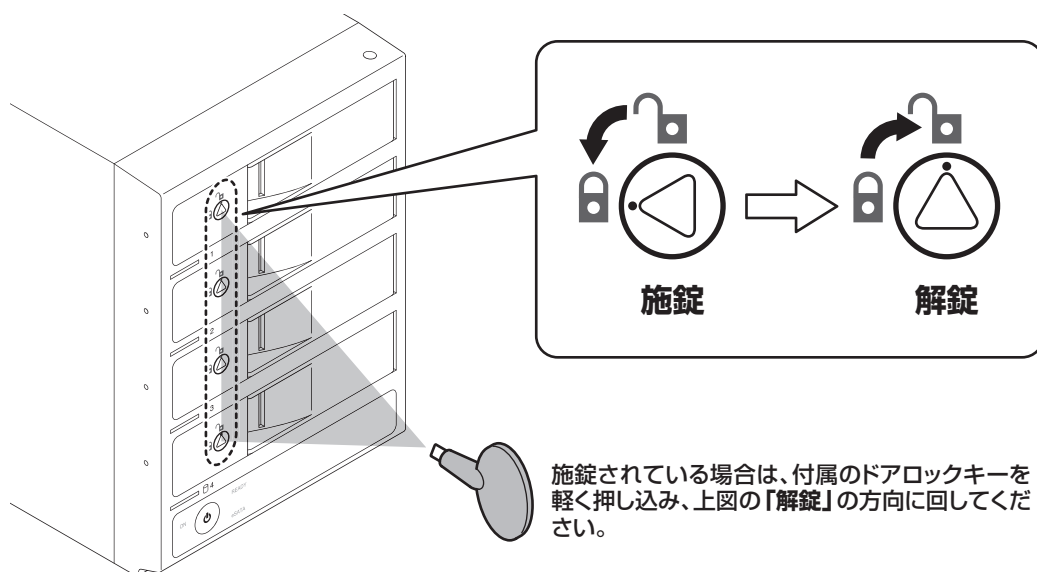
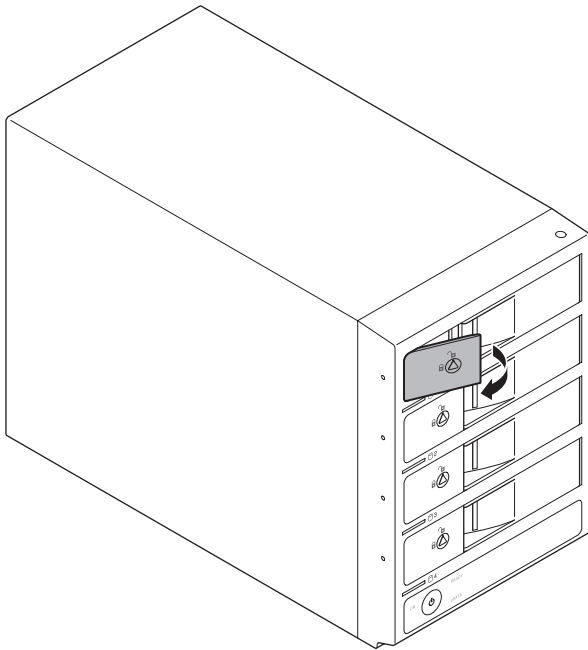
## ■組み込みの前に

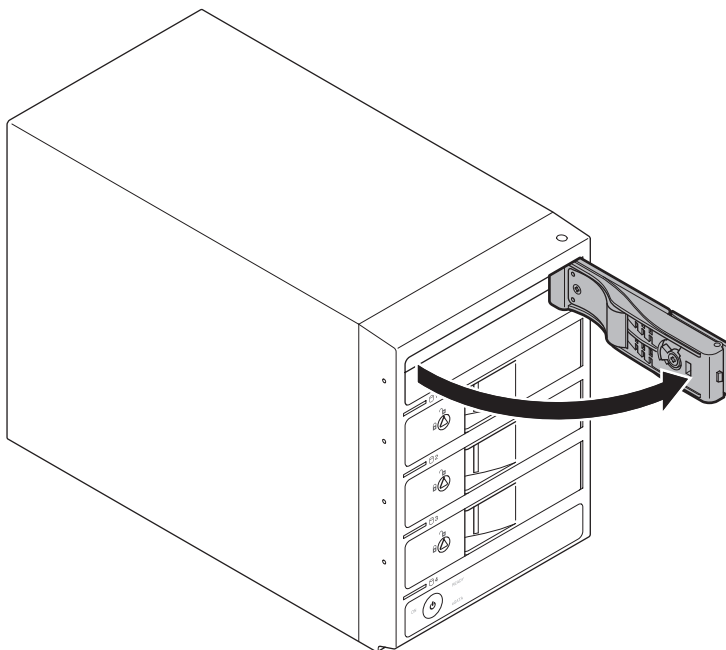
- HDDおよび本製品の基板部は精密機器ですので、衝撃には十分ご注意ください。
- HDD接続の際には、静電気に十分注意してください。人体に滞留した静電気が精密機器を故障させる原因になることがあります。作業の前に、金属のフレームなどに触れて放電するか、静電気防止バンドなどをお使いください。

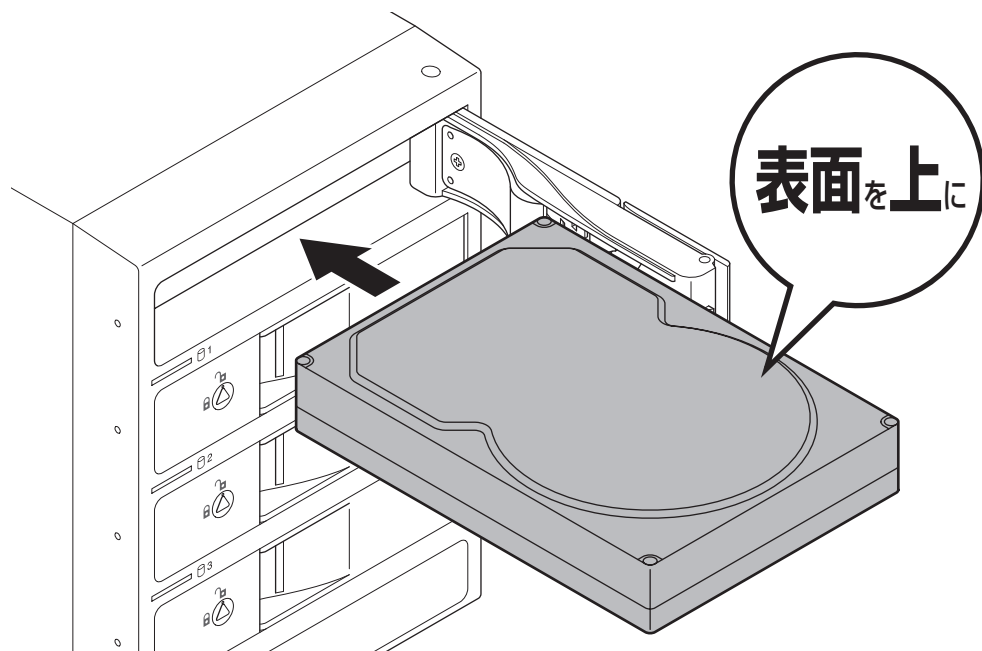
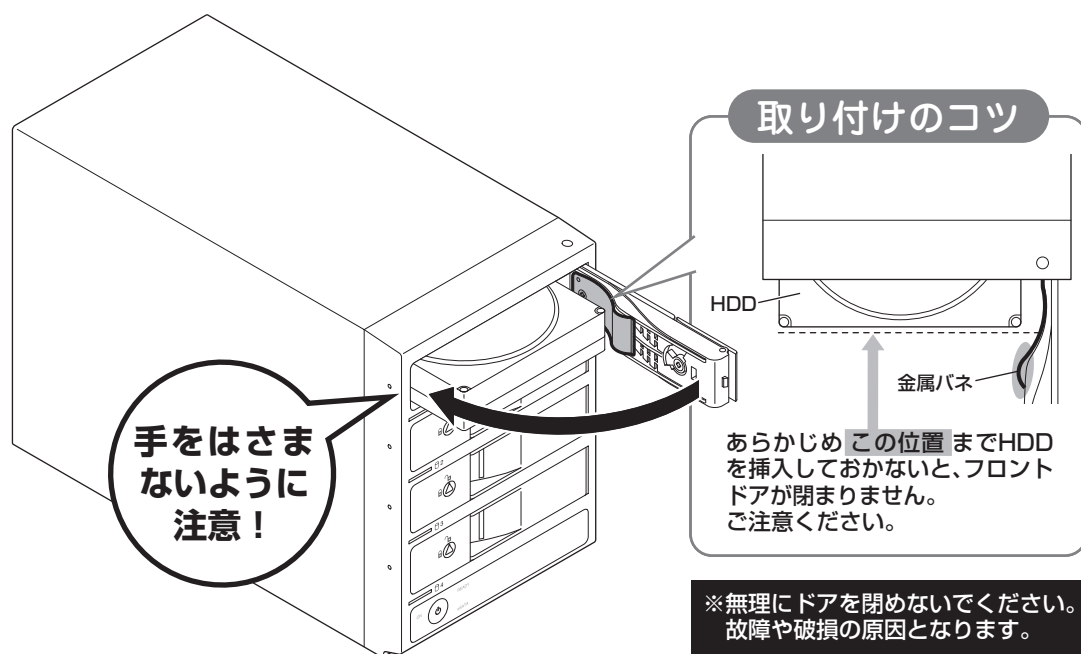
| ⚠注意 | フレームやHDDコネクタ、基板で手を切らないようにご注意ください。 |
| --- | --- |

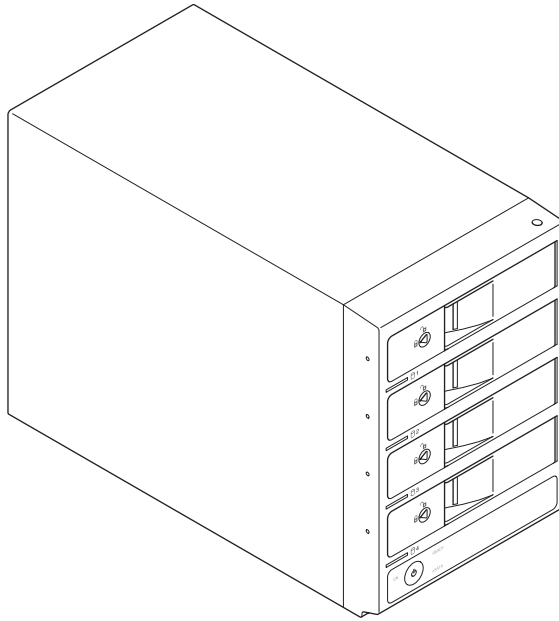
| ⚠注意 | すでにデータの入っているHDDを接続する場合は、接続時の不測の事態に備えて必ずデータのバックアップを行ってください。<br>また、本製品はHDDのホットスワップには対応しておりませんので、電源を入れたままのHDDの抜き差しは行わないでください。 |
| --- | --- |

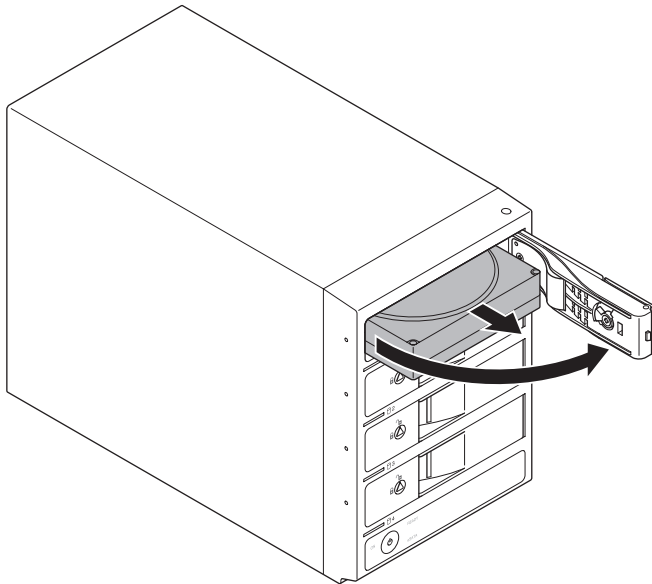
## ■HDDの取り付け方

**1.** フロントドアのドアロックが解錠状態（マーク）にあることを確認します。

**2.** フロントドアの取出し用ラッチを手前に引きます。

⚠注意
※力まかせに引っ張ると破損の原因になりますのでご注意ください。

**3.** フロントドアを開けます。

⚠注意
本製品のドアに手を挟んだり、本製品のフレームやHDDの基板面、コネクタ等で手を切らないよう十分ご注意ください。

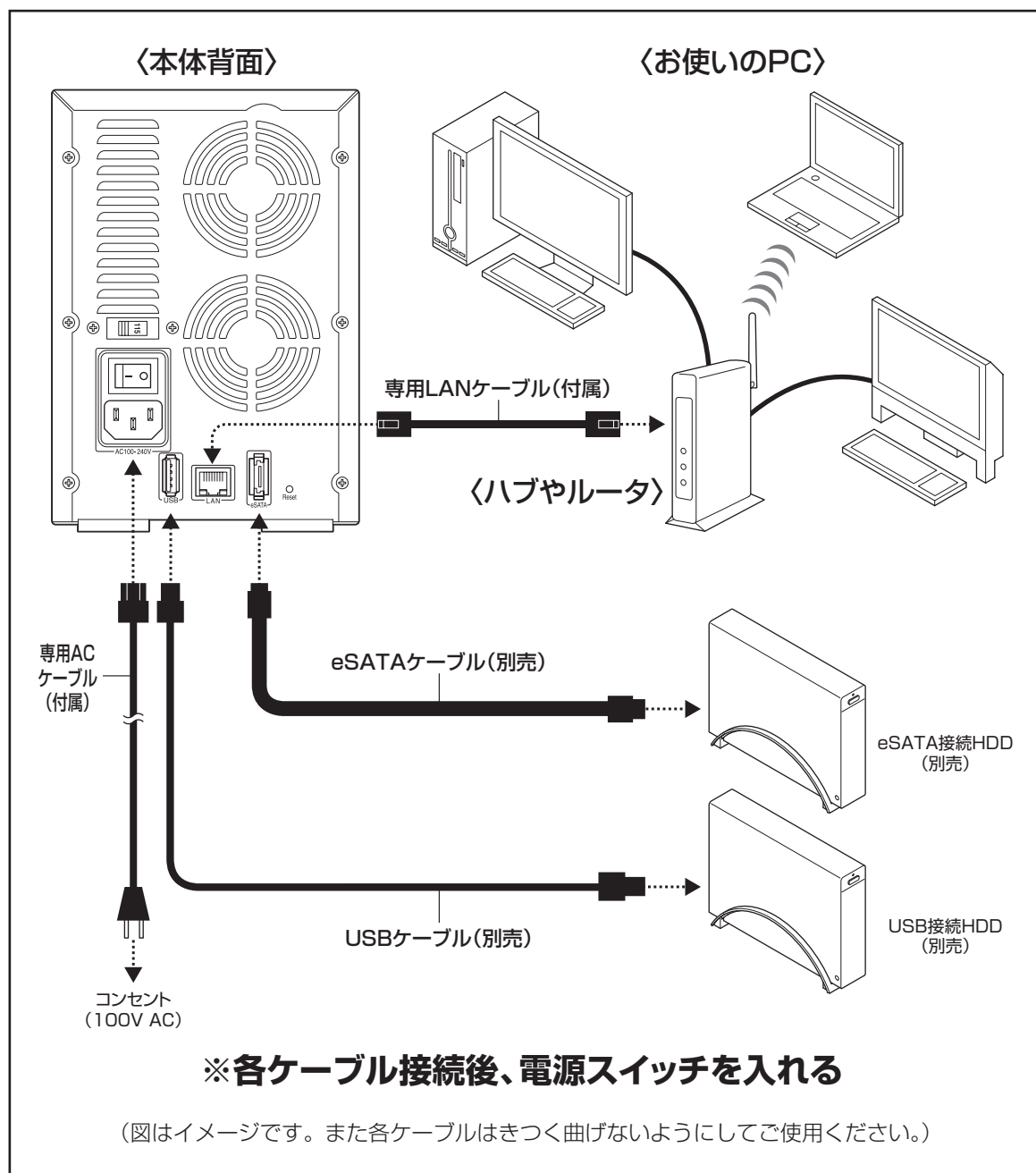
**4.** HDDの表面を上にして筐体にゆっくりと入れ、軽く当たったところで止めます。

**5.** HDDがフロントドア内側の金属バネより奥に差し込まれていることを確認したら、フロントドアを閉めます。

| ⚠注意 | 本製品のドアに手を挟んだり、本製品のフレームやHDDの基板面、コネクタ等で手を切らないよう十分ご注意ください。 |
|---|---|

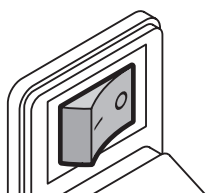
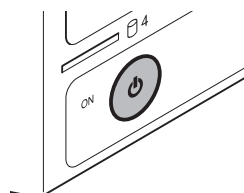
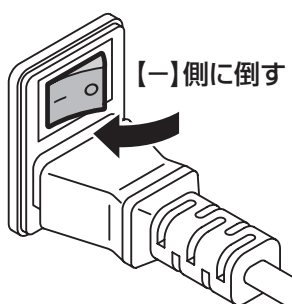
**6.** 下段もそれぞれ同じようにセットして完成です。
安全のため、長時間ご使用になる場合にはドアロックを施錠してご使用ください。

## ●取り出す場合は？

取り付けたときと同じようにフロントドアを開けると、中のHDDがコネクタから外れて前へ押し出されますので、そのままHDDを手で引き出してください。

**⚠注意**　本製品のドアに手を挟んだり、本製品のフレームやHDDの基板面、コネクタ等で手を切らないよう十分ご注意ください。

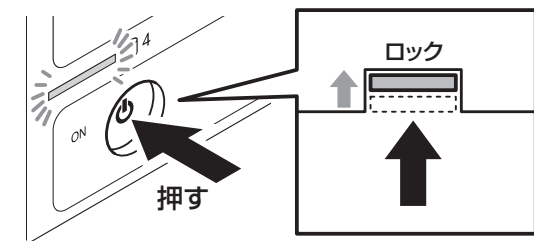
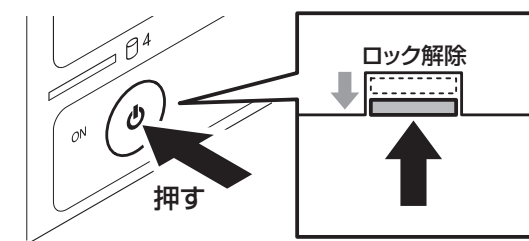
## 接続方法

**※各ケーブル接続後、電源スイッチを入れる**

(図はイメージです。また各ケーブルはきつく曲げないようにしてご使用ください。)

## 電源の投入方法

本製品は背面に「メイン電源スイッチ」、前面に「フロント電源ボタン」があります。
次の手順で電源を投入します。

### ■手順1：メイン電源スイッチをオンにする

背面のメイン電源スイッチをオフ【○】の位置からオン【ー】の位置に倒します。
この段階では、まだLEDの点灯およびHDDや冷却ファンの回転は始まりません。

### ■手順2：フロント電源ボタンのスイッチをオンにする

前面のフロント電源ボタンを押し込むと奥の位置でロックされ、各LEDが点灯し、HDDと冷却ファンが回転します。
もういちどボタンを押し込むとロックが解除され、各LEDが消灯し、HDDと冷却ファンの回転が停止します。
**※Web設定画面からシャットダウンを行っても電源は切れません。手動で電源を切ってください。**

### 以降の電源オン・オフはフロント電源ボタンのみで操作を行います。

長時間ご使用されない場合は、両方の電源スイッチ／ボタンをオフにし、コンセントから抜いてください。

# 管理ツール設定編

## ■本章内の表記について

| 表記 | 表記の内容 |
|---|---|
| 本製品 | CRIB35NAS本体を指します。 |
| [ ] → [ ] | 矢印の順に[ ]で囲まれた画面を表示していくことを表します。 |
| 【 】 | 画面上のリンクを【 】で囲まれた文字で表しています。<br>(例)【ファイルダウンロード】→ ファイルダウンロード |

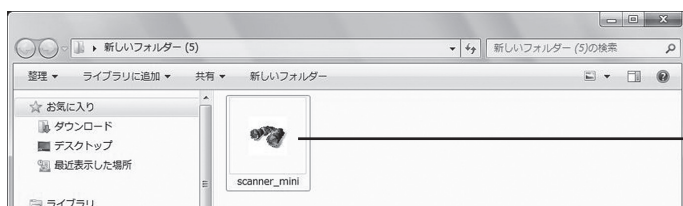
## ■本章について

本章はP.12「本製品を使えるようにするまでの準備」の Step 3 ～ Step 5 を中心に説明しています。
本製品の設置が終わっていない場合は、P.12「本製品を使えるようにするまでの準備」の Step1 、Step 2 にて設置を完了させてから本章にお進みください。

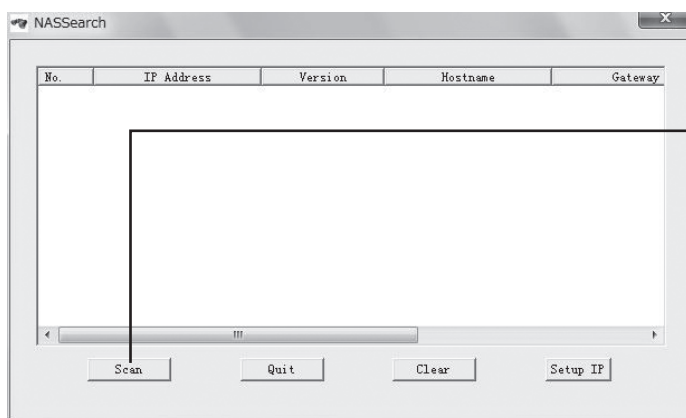
# 管理ツール設定編

# 1. 設定画面の開き方

## Windowsの場合

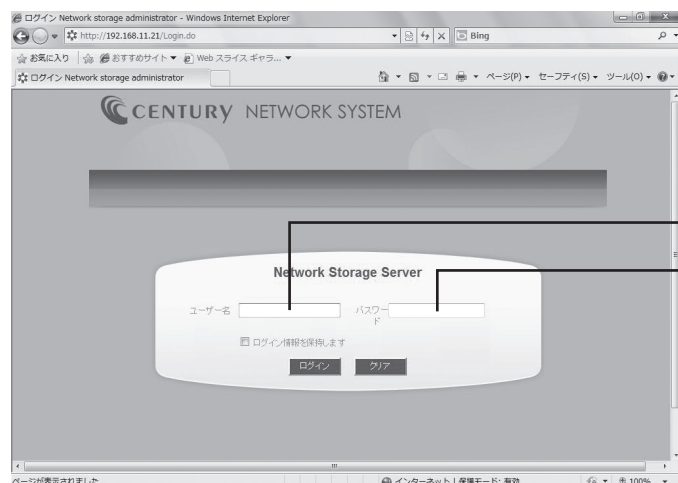
（1）すべての準備が整い、電源を入れてREADY LEDが点灯状態になったら、添付のCD-ROM内の「scanner_mini.exe」をダブルクリックで開きます。

ダブルクリックで開く

■Windowsファイヤーウォールのブロック解除について
「scanner_mini.exe」をダブルクリックした際にお使いのPCのWindowsファイヤーウォールが有効になっていると、「Windowsセキュリティーの重要な警告」というポップアップが表示されることがあります。
本製品と通信するためにはブロックを解除する必要がありますので、「ブロックを解除する」をクリックしてください。

（2）Scan をクリックすると、同じローカルネットに接続されている「CRIB35NAS」が表示されますので、ダブルクリックします。

クリックする

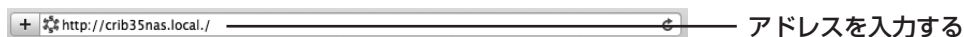
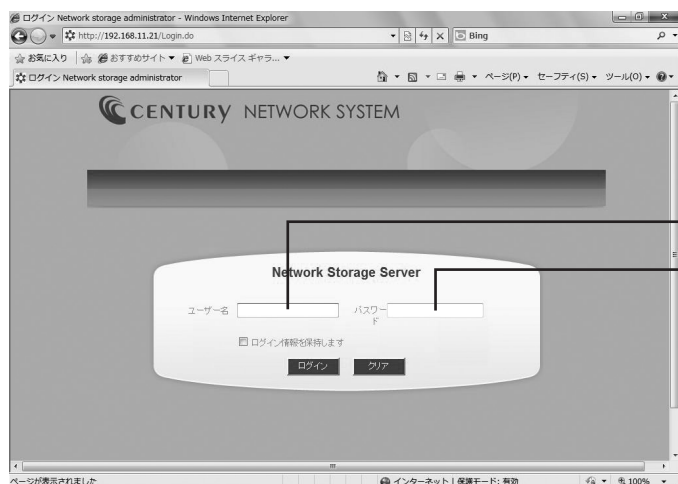
※ Setup IP をクリックすると、IPの設定を「初期設定」（P.28参照）から変更できます。
通常は変更する必要はありませんが、変更する場合はお使いのネットワークのネットワーク管理者にご相談の上、設定してください。

（3）ログイン画面が表示されます。

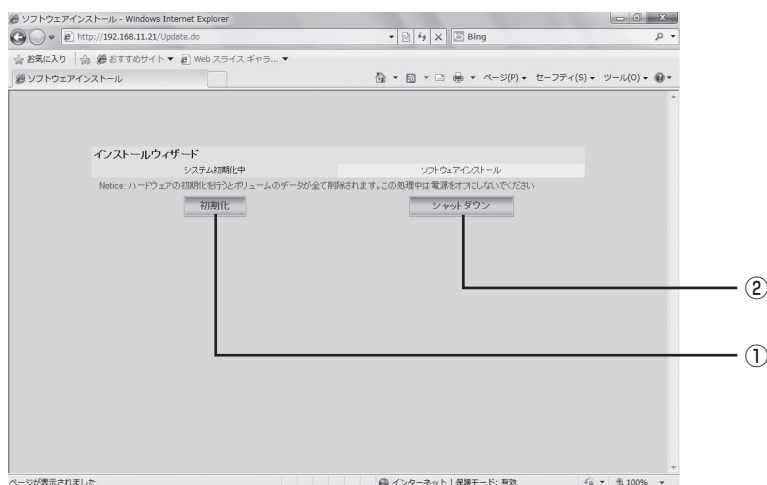
①
②

最初に設定してある管理用IDとパスワードは、
**①ユーザー名：admin**
**②パスワード：admin**
となります。

## Macの場合（OS 10.5.8 以降）

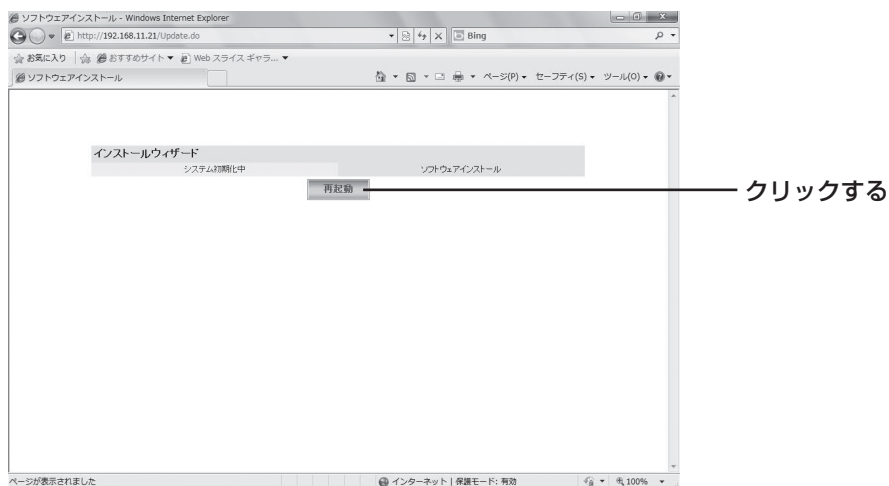
> **MEMO** いちばん最初の設定では使用できません。
> この方法は、「iTunesサーバー」（P.74）が有効になっている場合のみ設定が可能です。

（1）すべての準備が整い、電源を入れてREADY LEDが点灯状態になったら、Safariを開き、アドレスバーに「http://crib35nas.local./」と入力し、returnキーを押します。

（2）ログイン画面が表示されます。

最初に設定してある管理用IDとパスワードは、
①**ユーザー名**：admin
②**パスワード**：admin
となります。

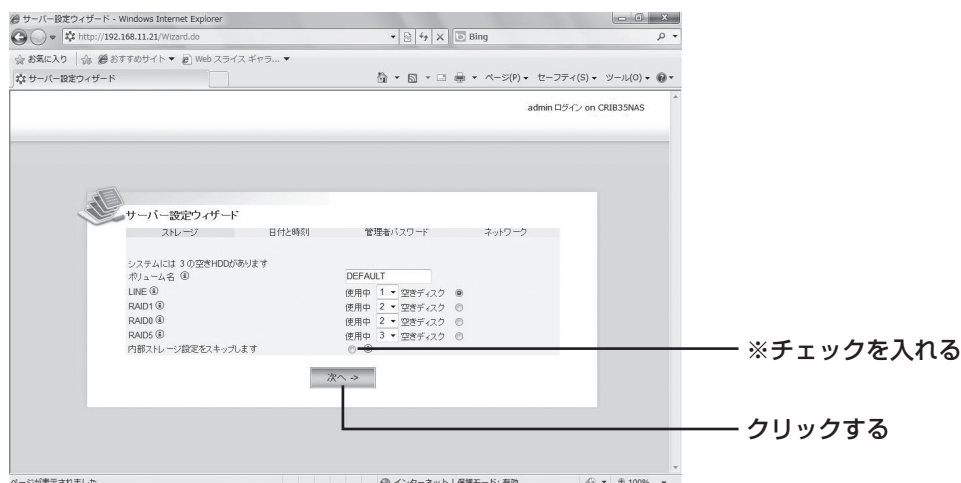
# 2. 初期設定

（1）いちばん最初にHDDを組み込んで電源を入れた際は、ログインするとインストールウィザードの初期化画面が表示されます。

①初期化を行う場合は 初期化 をクリックします。
② シャットダウン をクリックすると、そのまま何もせずにシャットダウン処理を行います。

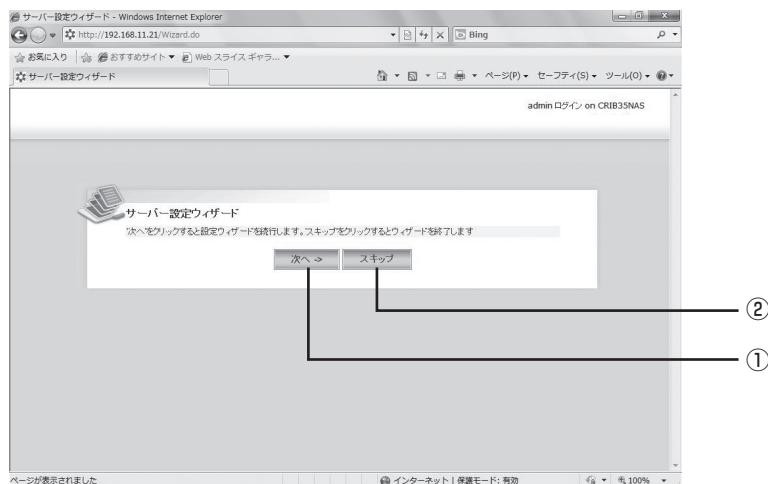
| ⚠注意 | 初期化を行うとHDD内のデータがすべて削除されます！ |
|---|---|

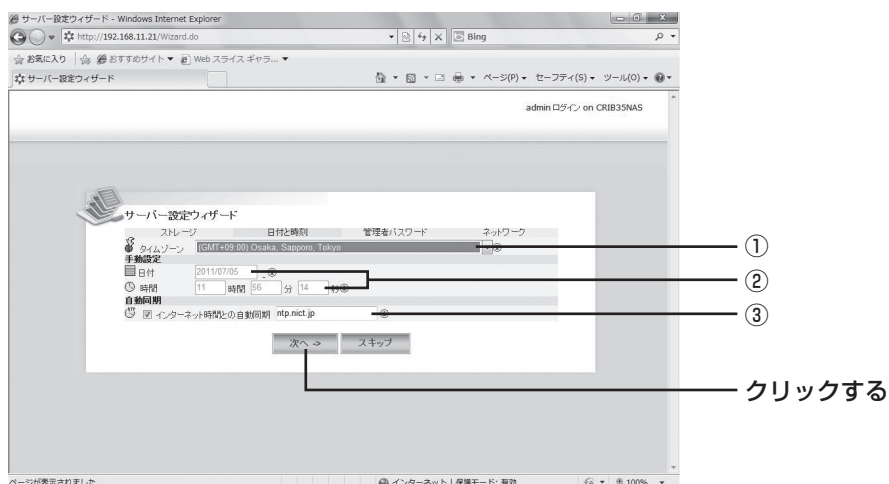
（2）再起動画面になります。

再起動 をクリックして再起動します。

クリックするとログイン画面に戻りますが、一旦ブラウザを閉じてください。
READY LEDが点滅→消灯→点滅し、再起動が行われますので、READY LEDが点灯状態になるまでしばらくお待ちください。
READY LEDが点灯状態になったら、「設定画面の開き方」（P.22）の手順どおりに「scanner_mini.exe」を使ってCRIB35NASを検索し、再度ログインしてください。

（3）再度ログインするとサーバー設定ウィザードが表示されます。内蔵したストレージをどのように利用するかを設定します。

MEMO この時点でのストレージの作成にはいくつか制限がありますので（例：RAID 0の構成が2台まで等）、『内部ストレージ設定をスキップします』にチェックを入れ、のちほど「RAIDの構築方法」（P.59）で設定することを強くお勧めします。

設定が終了（または設定をスキップ）したら 次へ -> をクリックします。

（4）設定続行画面が表示されます。

①設定を続行する場合は再度 次へ -> をクリックします。
②残りの設定を「工場出荷時設定」（P.90）のまま使用する場合は スキップ をクリックして、サーバー設定ウィザードを終了します。

（4）日付と時刻設定画面が表示されます。

**①タイムゾーン**

利用する場所のタイムゾーンを設定します。
日本国内の場合は初期設定の（GMT+9:00 Osaka, Sapporo, Tokyo）を用います。

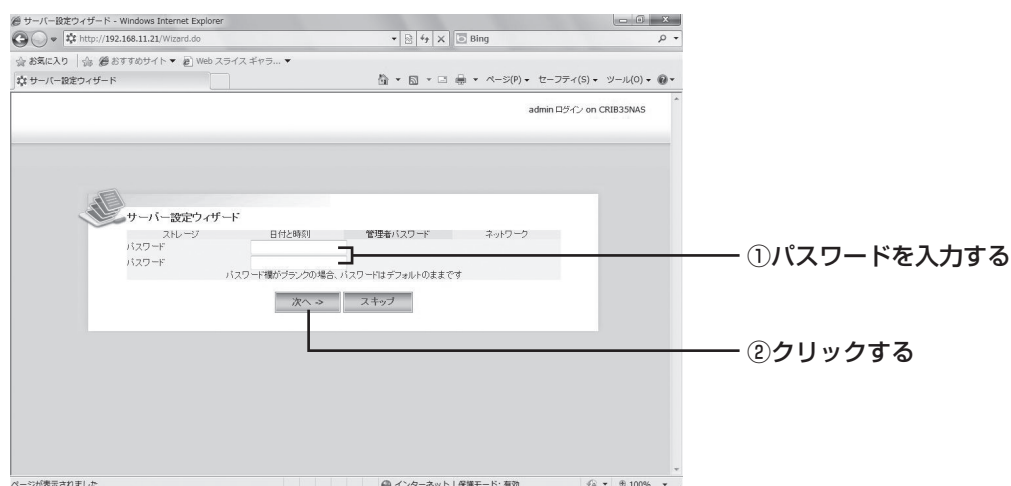
**②日付・時間**

日付と時間を入力します。自動同期が有効になっている場合は同期するntpサーバーが優先されるため、入力できません。
※出荷時は自動同期が有効になっています。

**③自動同期**

インターネットのntpサーバーと自動同期するかどうかを設定します。
・チェック：入っていると自動同期が有効となります。
・ntpサーバー名：有効なntpサーバーを指定します。

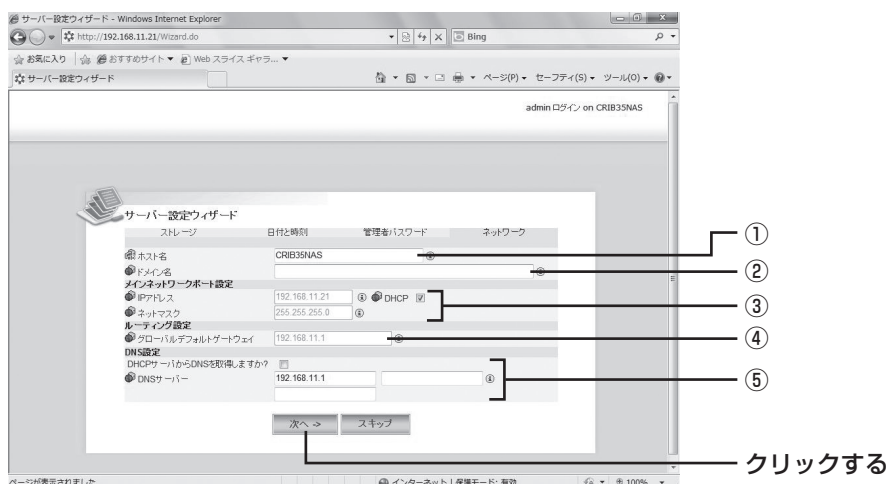
設定が終了したら [次へ ->] をクリックします。
※ [スキップ] をクリックすると工場出荷時設定のまま設定をスキップします。

（5）管理者パスワード画面が表示されます。

確認のため２つのフィールドに同じパスワードを入力します。

※パスワードを何も入力しなかった場合、パスワードは工場出荷時設定の「admin」のまま変更されません。

設定が終了したら 次へ -> をクリックします。

※ スキップ をクリックすると工場出荷時設定のまま設定をスキップします。

（6）ネットワーク設定画面が表示されます。

**①ホスト名**

他のネットワークから認識されるホスト名を設定します。

**②ドメイン名**

ネットワーク内でDNSを利用し、ドメイン管理をしている場合に使用します。通常は空白のままで問題ありません。

詳しくはお使いのネットワーク管理者にご相談ください。

**③IPアドレス/ネットマスク**

通常は『DHCP』のチェックを入れておくと、自動的にインターネット接続用ルータが割り振りを行いますので、設定の必要はありません。

特定のIPを利用したい場合はチェックを外し、数値を入力してください。

詳しくはお使いのネットワーク管理者にご相談ください。

**④ルーティング設定**

通常は『DHCP』のチェックを入れておくと、自動的にインターネット接続用ルータが割り振りを行いますので、設定の必要はありません。

特定のIPを利用したい場合はチェックを外し、数値を入力してください。

詳しくはお使いのネットワーク管理者にご相談ください。

**⑤DNS設定**

『DHCPサーバーからDNSを取得しますか？』のチェックを入れておくと、自動的にインターネット接続用ルータが割り振りを行いますので、設定の必要はありません。

特定のIPを利用したい場合はチェックを外し、数値を入力してください。

詳しくはお使いのネットワーク管理者にご相談ください。

設定が終了したら ［次へ ->］ をクリックします。

※［スキップ］ をクリックすると工場出荷時設定のまま設定をスキップします。

（7）システム情報画面が表示されたら初期設定は完了です。

このままではまだNASとしては利用できませんので、

- **共有ディスクを利用するには…「共有」（P.41）にて共有の設定**
- **RAIDの設定をしていない場合は…「ストレージ」（P.59）にてRAIDの設定**
- **iTunesサーバー、メディアサーバーを利用するには…「メディア」（P.74）にてiTunes、メディアサーバーの設定**

が必要です。

# 3. システム

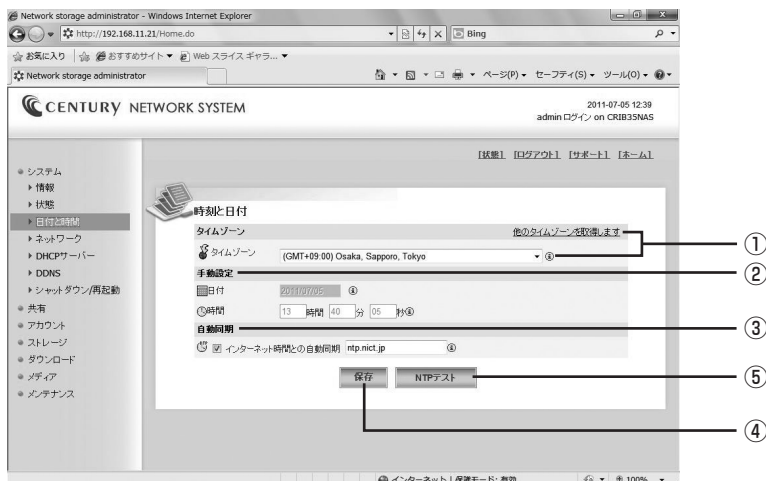
ここでは、各機能の設定と情報を閲覧します。

## 情報

本製品のファームウェアバージョンやシリアルナンバーの表示を行います。

## 状態

本製品の稼働時間、CPU負荷率、HDDのステータスを表示します。
**①RAIDの右側の詳細をクリックすると、[ストレージ] → [RAID]**
**②HDDの右側の詳細をクリックすると、[ストレージ] → [デバイス]**
に移動します。

# 日付と時間

本製品の日付と時間を設定します。

**①タイムゾーン**

利用する場所のタイムゾーンを設定します。
通常は初期設定の（GMT+9:00 Osaka, Sapporo, Tokyo）のみが選択可能です。
他のタイムゾーンを使う場合は【他のタイムゾーンを取得します】をクリックしてください。プルダウンで他のタイムゾーンが選択可能になります。

**②手動設定**

日付と時刻を入力します。自動同期が有効になっている場合は、同期するntpサーバーが優先されるため入力できません。

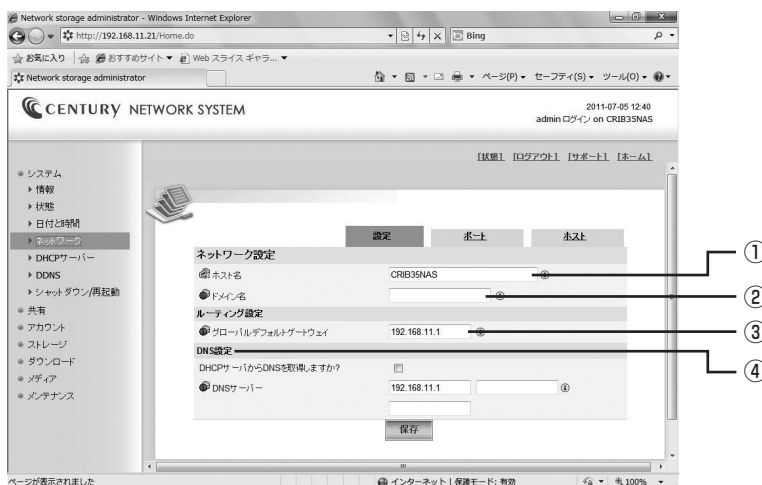
**③自動同期**

インターネットのntpサーバーと自動同期するかどうかを設定します。
・チェック：入っていると自動同期が有効となります。
・ntpサーバー名：有効なntpサーバーを指定します。

**④保存**

設定した内容を保存します。

**⑤NTPテスト**

設定してあるntpサーバーが有効かの接続テストを行います。

## ネットワーク

### ■［ネットワーク］→［設定］

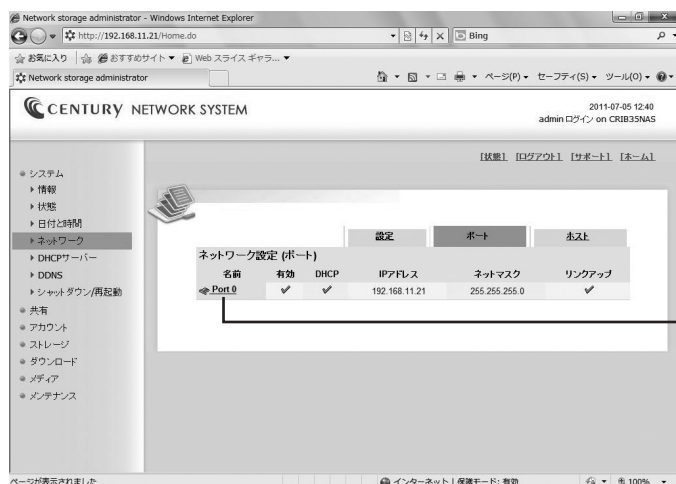
ネットワーク設定を行います。上のタブで設定、ポート、ホストの設定を行います。
この設定はネットワークに詳しい方、もしくはネットワーク管理者にご相談の上、設定してください。
通常は変更する必要はありません。

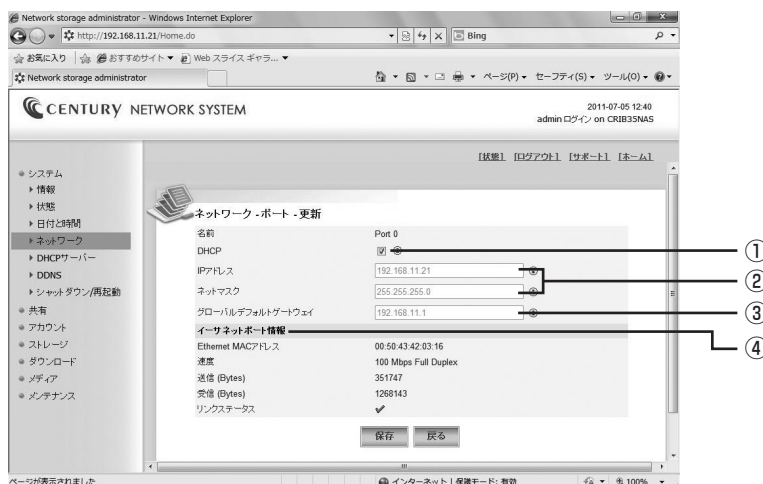
**①ホスト名**
他のネットワークから認識されるホスト名を設定します。

**②ドメイン名**
ネットワーク内でDNSを利用し、ドメイン管理をしている場合に使用します。通常は空白のままで問題ありません。

**③グローバルデフォルトゲートウェイ**
通常はネットワーク→portの『DHCP』のチェックを入れておくと､自動的にインターネット接続用ルータが割り振りを行いますので、設定の必要はありません。
特定のIPを利用したい場合はチェックを外し、数値を入力してください。

**④DNS設定**
『DHCPサーバーからDNSを取得しますか？』にチェックを入れておくと､自動的にインターネット接続用ルータが割り振りを行いますので、設定の必要はありません。
特定のIPを利用したい場合はチェックを外し、数値を入力してください。

## ■ ［ネットワーク］→［ポート］

ポートの状態を表示します。
設定したい場合や、さらに詳しい情報を知りたい場合は【Port 0】をクリックします。

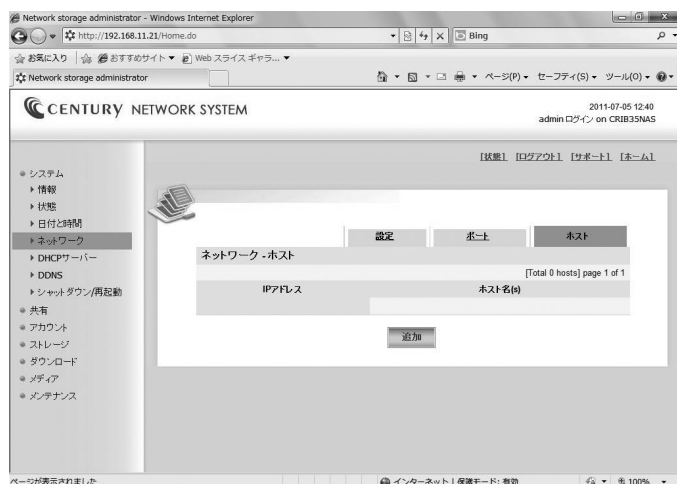
## ■ ［ネットワーク］→［ポート］→［更新］

ネットワークの設定と詳細情報を閲覧します。
この設定はネットワークに詳しい方、もしくはネットワーク管理者にご相談の上、設定してください。
通常は変更する必要はありません。

①DHCP
ネットワーク内にある　サーバー（通常はインターネット接続ルーターがこの機能を持っています）からネットワーク設定を参照するかどうかを設定します。

**②IPアドレス/ネットマスク**
通常は『DHCP』のチェックを入れておくと、自動的にインターネット接続用ルータが割り振りを行いますので、設定の必要はありません。
特定のIPを利用したい場合はチェックを外し、数値を入力してください。

**③グローバルデフォルトゲートウェイ**
通常は『DHCP』のチェックを入れておくと、自動的にインターネット接続用ルータが割り振りを行いますので、設定の必要はありません。
特定のIPを利用したい場合はチェックを外し、数値を入力してください。

**④イーサネットポート情報**
現在のイーサネットポート情報を表示します。
・Ethernet MACアドレス：製品固有のMACアドレスを表示します。
・速度：現在接続している速度を表示します。
・送信（Byte）：本製品からどれだけデータが送信されたかを表示します。
・受信（Byte）：本製品がどれだけデータを受信したかを表示します。
・リンクステータス：LANの接続状態を表示します。

## ■［ネットワーク］→［ホスト］

特定のIPアドレスのローカルな名前の解決に使用します。
※通常は使用しません。

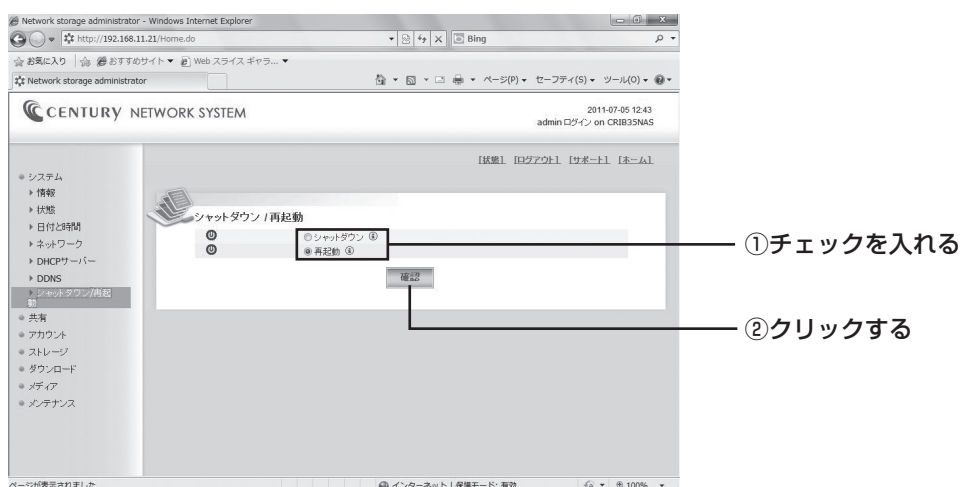
## DHCPサーバー

本製品のDHCPサーバーを設定します。通常はインターネット接続ルーターがこの機能を持っていますので、利用することはありません。
誤って使用するとご利用のネットワークの接続障害や、本製品に接続できなくなるおそれがありますので、お使いのネットワークの管理者に相談の上、ご利用ください。

## DDNS

本製品ではサポートしておりません。

## シャットダウン/再起動

シャットダウン/再起動を行います。

シャットダウンまたは再起動にチェックを入れて 確認 をクリックします。

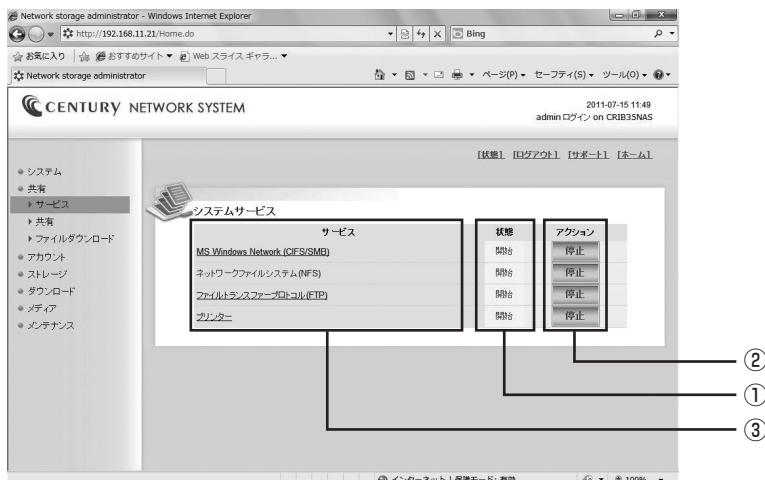
**●再起動した場合**
READY LEDが点滅を開始し、ネットワークから切断されます。
しばらくREADY LEDが点滅→消灯→HDD LEDが全消灯→再度HDD LED点灯→READY LEDが点滅（起動中）→ READY LED点灯（再起動完了）

**●シャットダウンした場合**
READY LEDが点滅を開始し、ネットワークから切断されます。
しばらくREADY LEDが点滅→消灯（※ステータスLEDは点灯し続けます。）
この段階でシャットダウンは完了しておりますので、フロント電源ボタンで電源を切ってください。

# 4. 共有

ここでは、データの共有サービスについての設定を行います。

## サービス

共有サービスの開始と停止、各種設定を行います。

サービスの状態確認と開始/停止を行います。

①**状態**：現在のサービスの稼動状態が表示されます。

②**アクション**：サービスの停止/開始が可能です。

③**サービス**：設定の閲覧/変更が可能です。

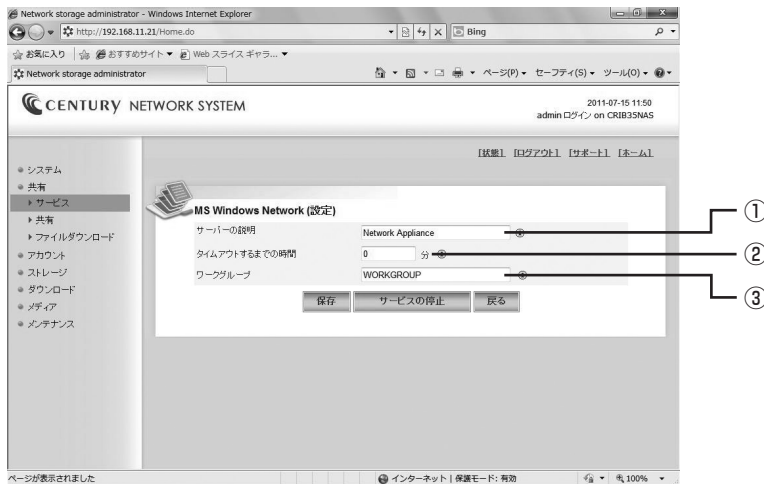
次の

・MS Windows Network（CIFS/SMB）

・ファイルトランスファープロトコル（FTP）

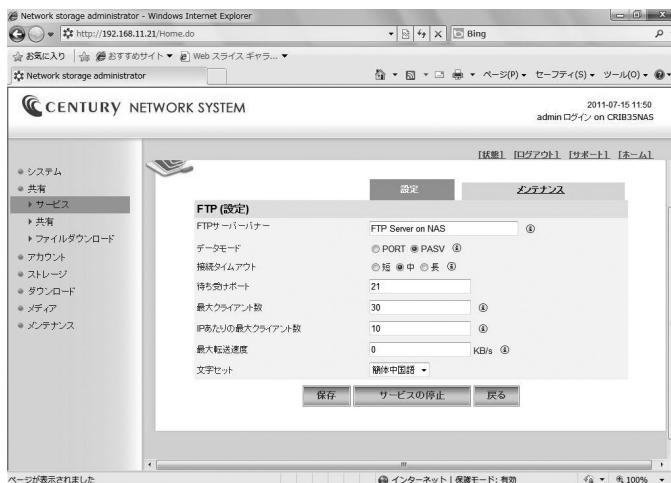
・プリンター

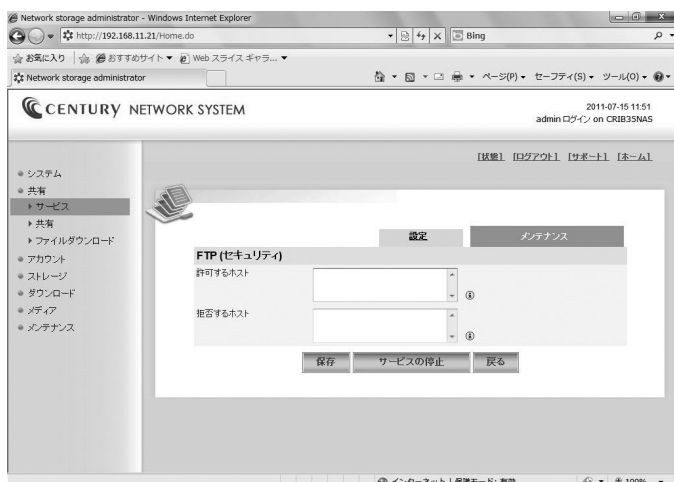
の３つをクリックすると、さらに詳しい設定の閲覧/変更が可能です。

## ■MS Windows Network（設定）

①**サーバーの説明**：Windows共有上で表示されるサーバーの説明が設定できます。
②**タイムアウトするまでの時間**：接続タイムアウトの時間を設定できます。
※0に設定するとタイムアウトしません。
③**ワークグループ**：Windowsのワークグループ名を設定します。

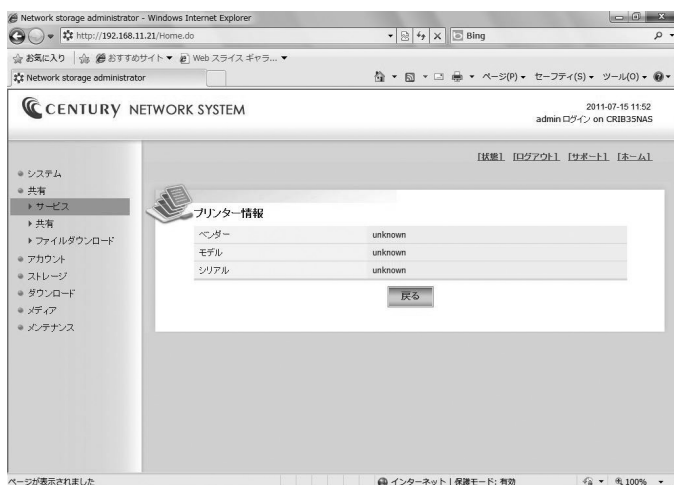
**⚠注意**

**変更を行ったら必ず 保存 をクリックして設定を保存してください。**
**保存しないまま 戻る をクリックしたり、メニューからほかの項目に移動したりすると、変更した設定が保存されません。**

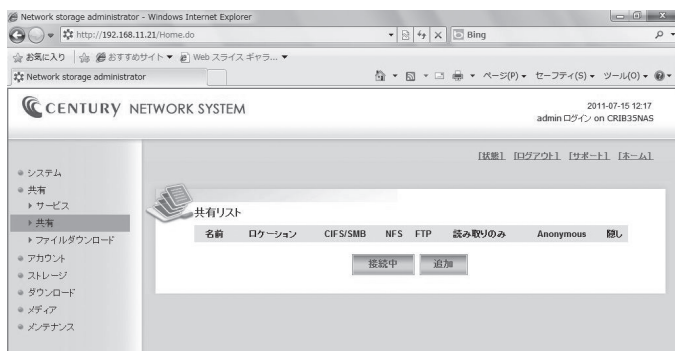
## ■FTP（設定）

FTPサーバーの設定を行います。
詳しい設定はお使いのネットワークのネットワーク管理者にご確認ください。
通常は変更する必要はありません。

## ■FTP（セキュリティ）

FTPを許可するホスト、拒否するホストの設定を行います。
詳しい設定はお使いのネットワークのネットワーク管理者にご確認ください。
通常は変更する必要はありません。

## ■プリンター

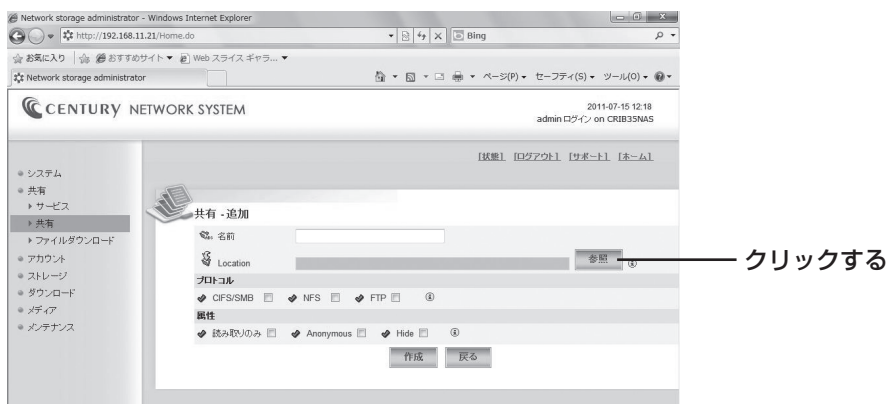
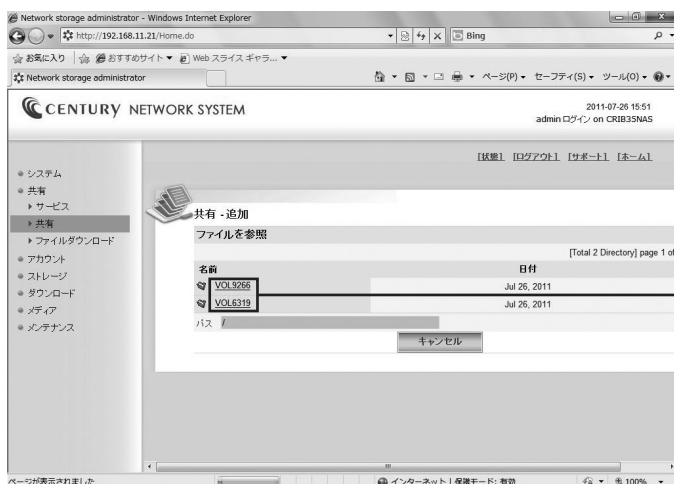
接続されているUSBプリンターのベンダー、モデル、シリアル番号の確認が可能です。

何も接続されていない場合は“unknown”になります。
※インクの残量確認等の双方向通信を行うプリンターには対応しておりません。

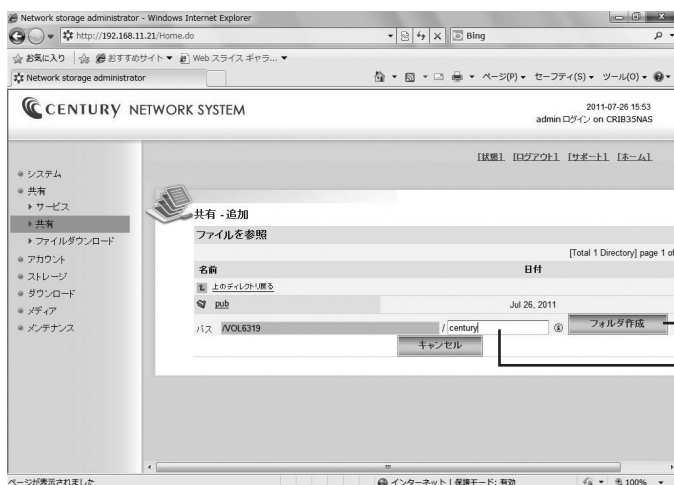
# 共有

ファイル共有スペースの設定を行います。

フォルダの共有を行わないとファイルサーバーとして機能しませんので、最初に共有を作成する必要があります。

## ■共有の作成方法

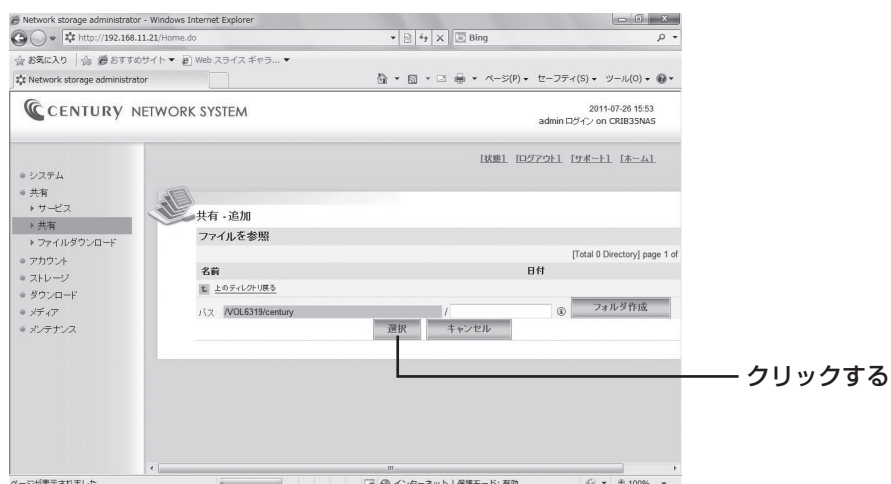
（1）［共有リスト］から 追加 をクリックします。

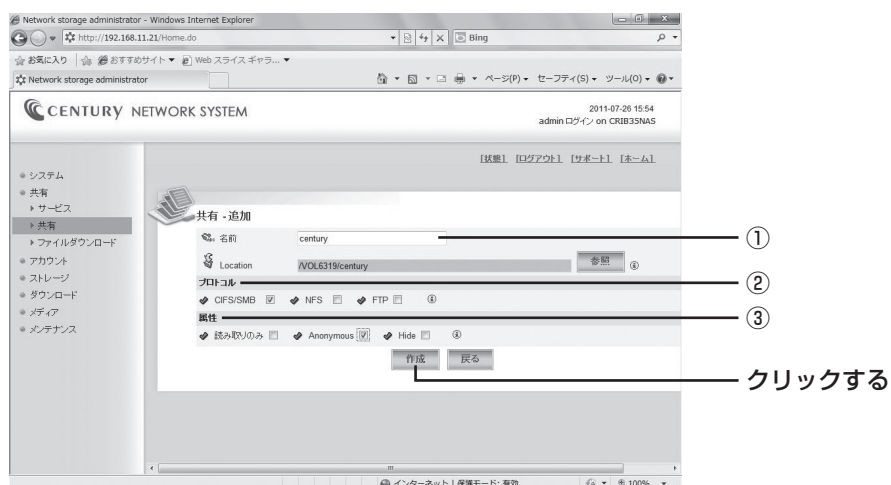
（2）［共有・追加］が表示されます。最初にどの場所（location）を共有するかを設定しますので、 参照 をクリックします。

（3）本体内にある共有可能な【ボリューム】が表示されますので、共有に使うボリュームをクリックします。

（4）フォルダを作成します。

※標準で「pub」というフォルダが作成されていますが、ここでは新たにフォルダを作成します。

①パスの入力フィールドに好きな名前（例として「century」）を入力する。

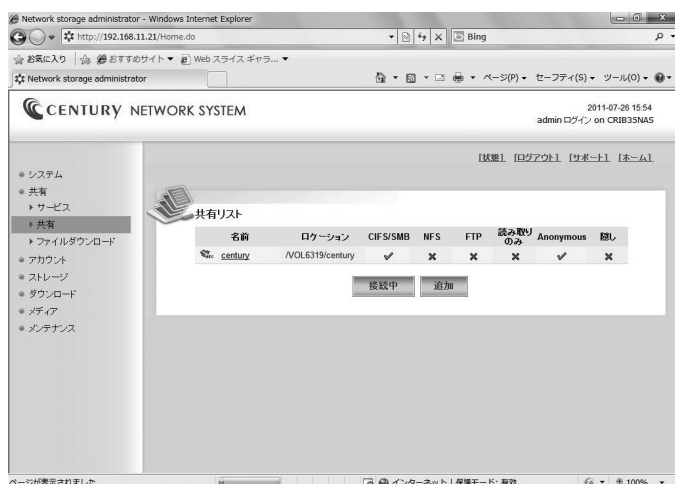
② フォルダ作成 をクリックする。

これで「century」フォルダが作成されます。

（5）選択 をクリックして「century」を共有します。

※さらに下の階層を作ることも可能ですが、ここでは「century」を共有します。

（6）locationが設定されますので、各項目を入力、設定します。

①**名前**：（4）と同じように入力します（ここではフォルダ名と同じ「century」）。
②**プロトコル**：“CIFS/SMB”にチェックを入れます。
③**属性**：“Anonymous”にチェックを入れます。
※Anonymous（匿名）オプションにチェックを入れておかないと、「ユーザーの登録方法」（P.48）でユーザー権限の設定を行わない限り、「admin」のみから参照が可能になります。
※アドバンスドオプションであとから再設定が可能です。

最後に 作成 をクリックします。

（7）共有が追加されました。

※ 接続中 をクリックすると、現在共有に接続中のユーザーを表示します。

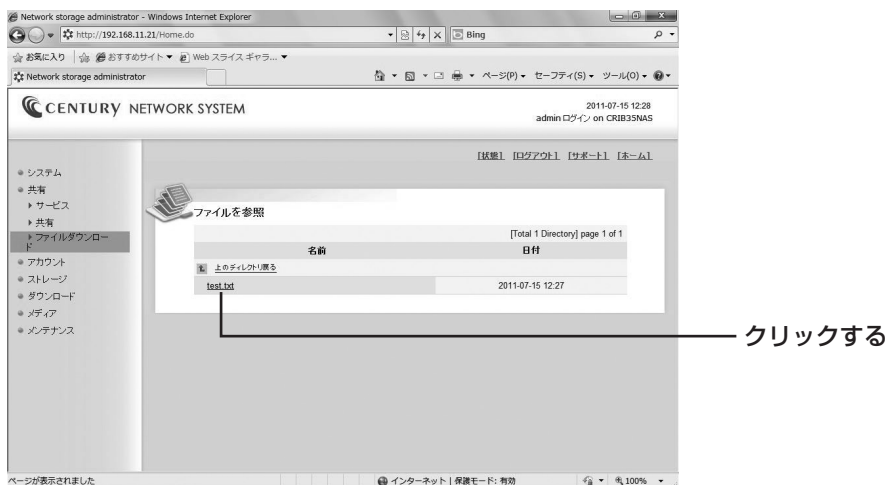
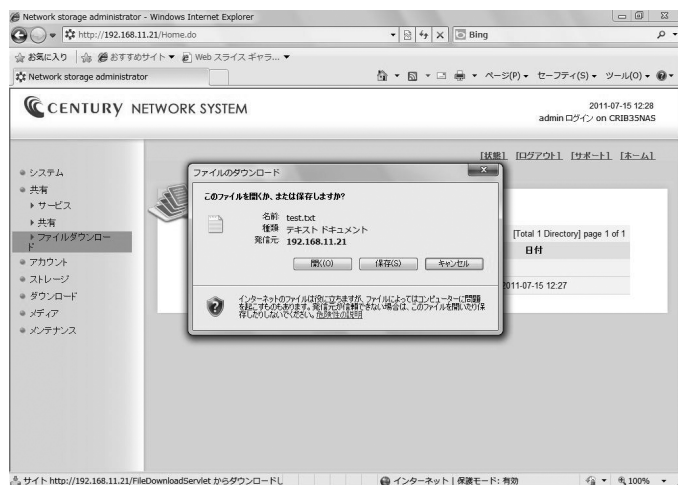
# ファイルのダウンロード

（1）ブラウザからサーバー内にあるデータのダウンロードが可能です。
【ファイルダウンロード】をクリックするとサーバー内のボリュームが表示されます。

（2）【ボリューム】をクリックすると、ボリューム内のフォルダが表示されます。

（3）データの入っているフォルダをクリックします。

※【上のディレクトリへ戻る】で上の階層へ戻ることが可能です。

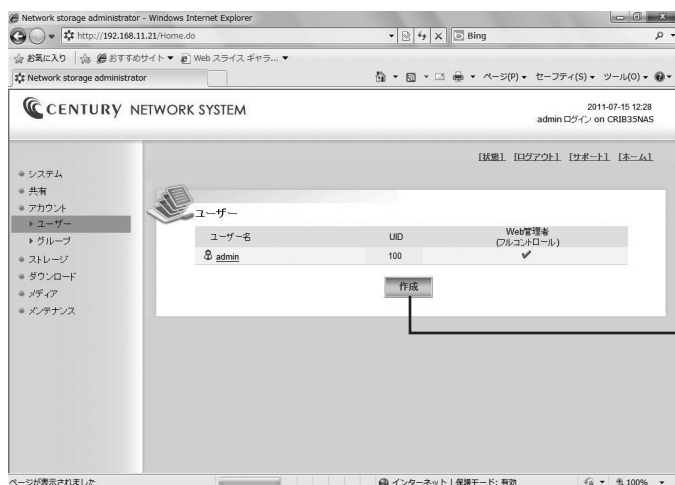
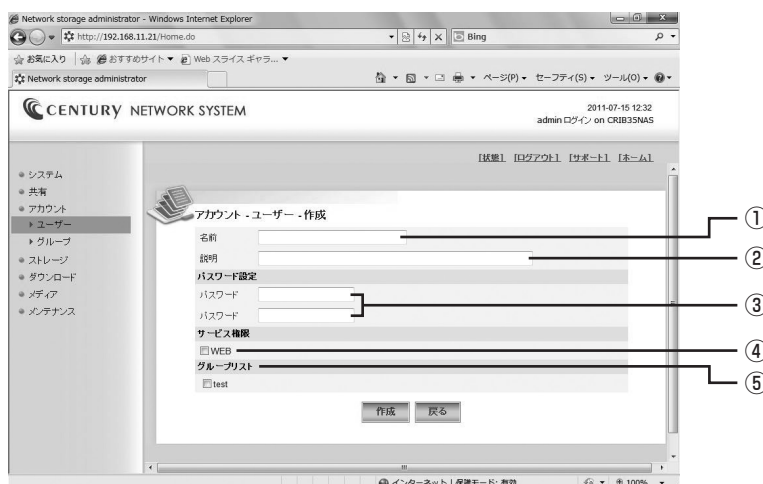
（4）ダウンロードしたいデータをクリックします。

（5）データのダウンロード画面になります。
※この画面は、お使いのブラウザやファイルの種類によって異なります。あらかじめご了承ください。

# 5. アカウント

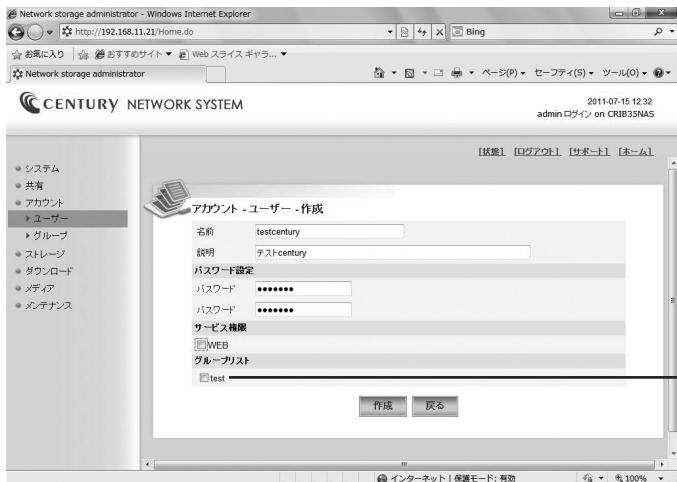
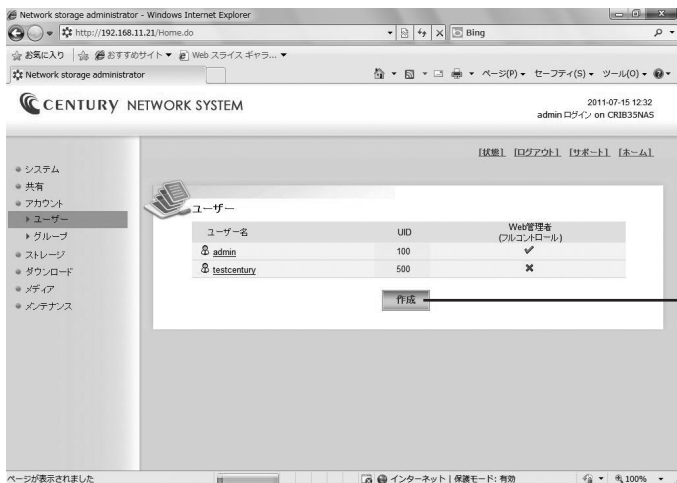
ここでは、ユーザーやグループの登録を行います。
共有の設定と組み合わせて使うことで、共有のアクセス制御をすることが可能になります。
また、ユーザーとグループを設定することで、ユーザーごと、グループごとのアクセス制御が行えます。

## ユーザー

ユーザーの作成と削除、編集を行います。

### ■ユーザーの登録方法

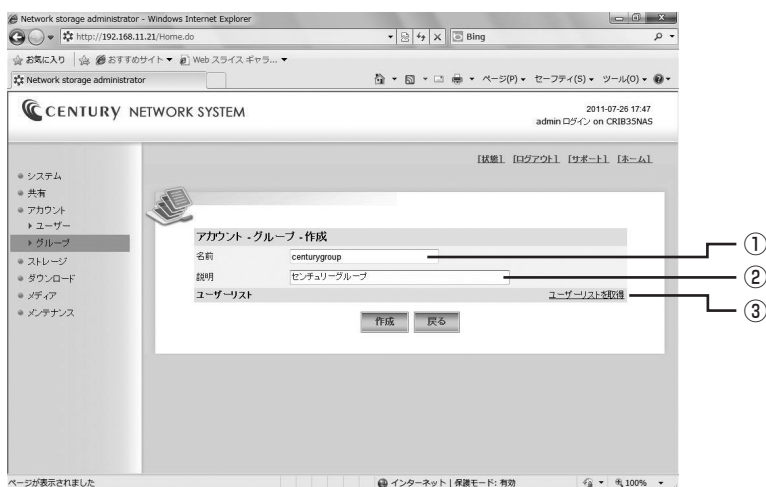
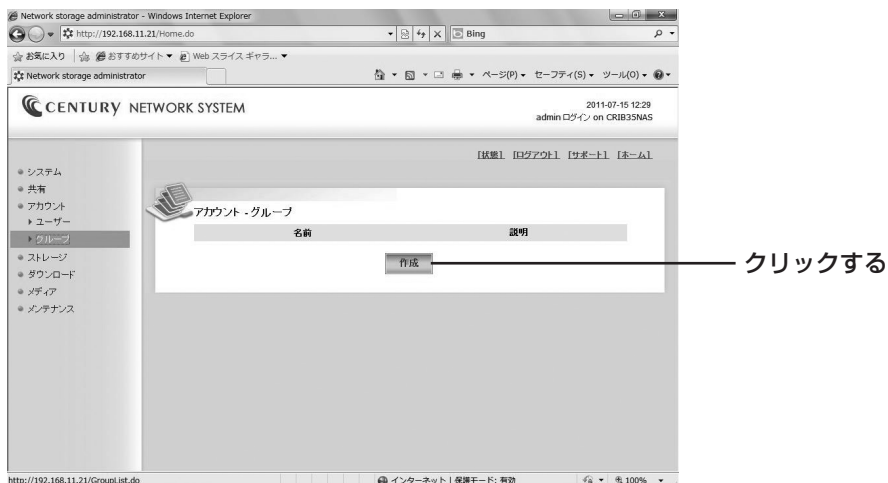
（1）［作成］をクリックします。※最初は管理用ユーザー「admin」しかありません。

（2）ユーザー入力画面が表示されますので、各項目を入力、設定します。

①**名前**：ユーザー名です。※半角英数字1 ～ 32文字まで。
②**説明**：ユーザーの説明です。※名前と説明はいちど登録すると変更することができません。
③**パスワード**:半角英数字を1文字以上入力します。確認のため、2箇所に同じものを入力してください。
④**WEB**：管理用です。使用しません。
⑤**グループリスト**：すでにグループを登録済みで、登録済みのグループのメンバにする場合はこのリンクをクリックしてグループリストを表示します。

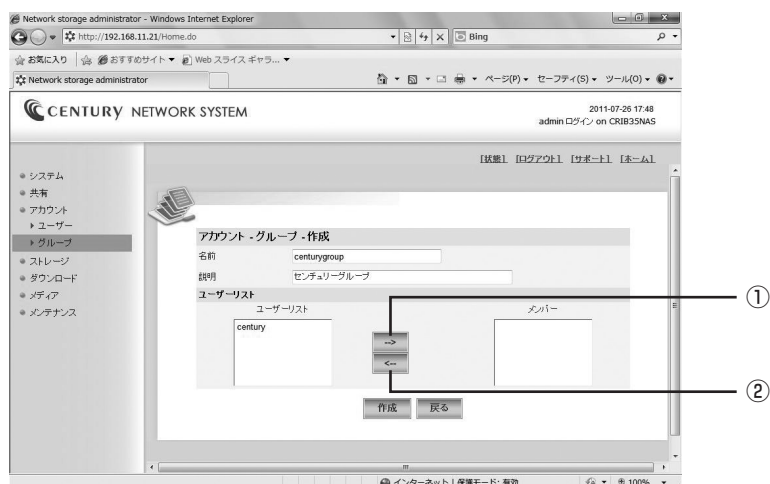
（3）メンバになるグループにチェックを入れます。

（4）作成 をクリックするとユーザーが作成され、ユーザーリストに表示されます。

※ユーザー名をクリックするとユーザーの編集が可能です。

# グループ

グループの追加と削除、編集を行います。

## ■グループ追加方法

（1） 作成 をクリックします。
※最初はグループが登録されていません。

①**名前**：グループ名です。※半角英数字1 ～ 32文字まで。
②**説明**：ユーザーの説明です。
③**ユーザーリストを取得**：すでにユーザーを登録済みで、登録済みユーザーをメンバにする場合はこのリンクをクリックをしてユーザーリストを取得します。→（2）へ

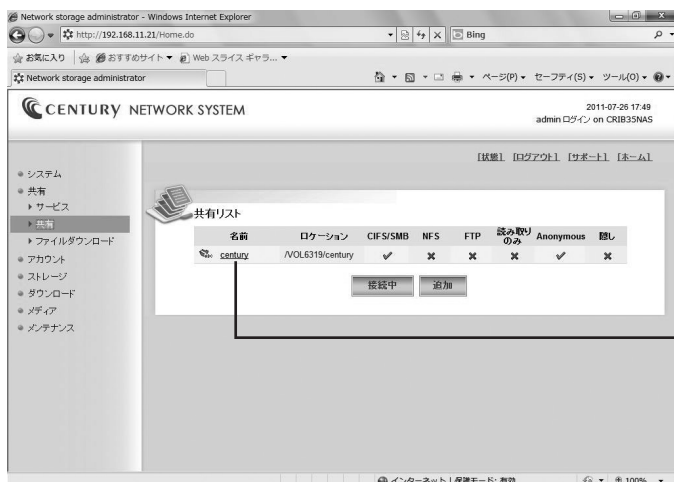
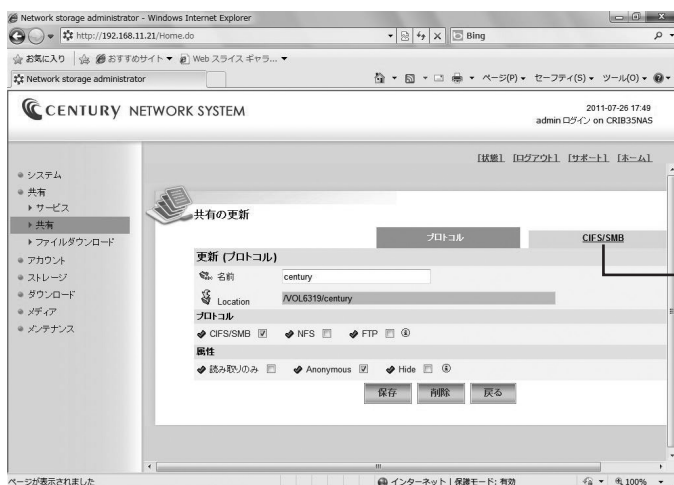
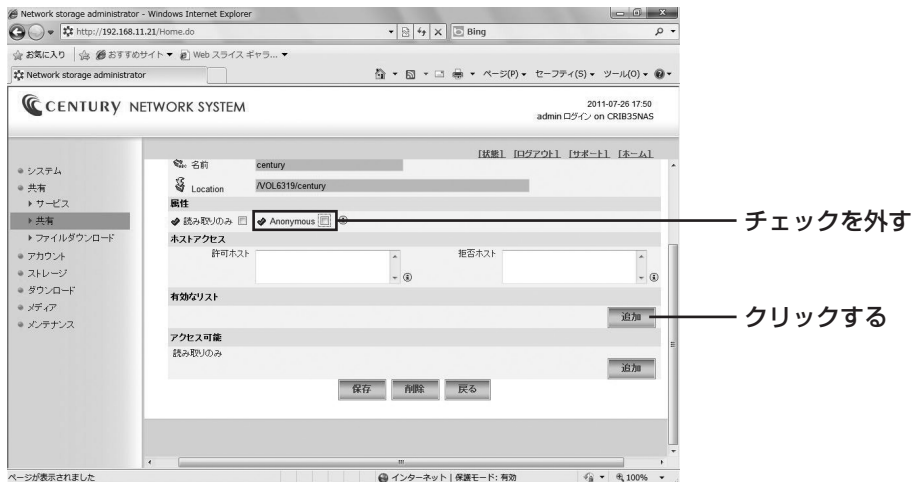
（2）ユーザーリストの追加、削除を行います。

ユーザーリストからユーザーをクリックして反転し、
① [-->] **ボタンで追加**
② [-->] **ボタンで削除**
となります。

（3）[作成] をクリックするとグループが追加されます。
※グループを作成後に追加/削除することも可能です。

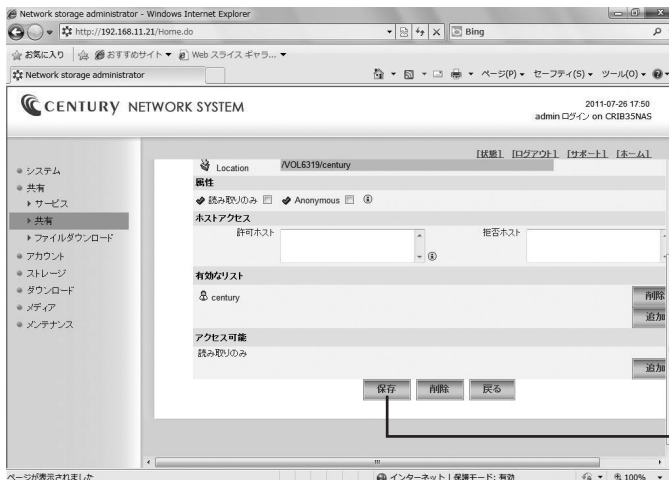
※グループ名をクリックすると
グループの編集が可能です。

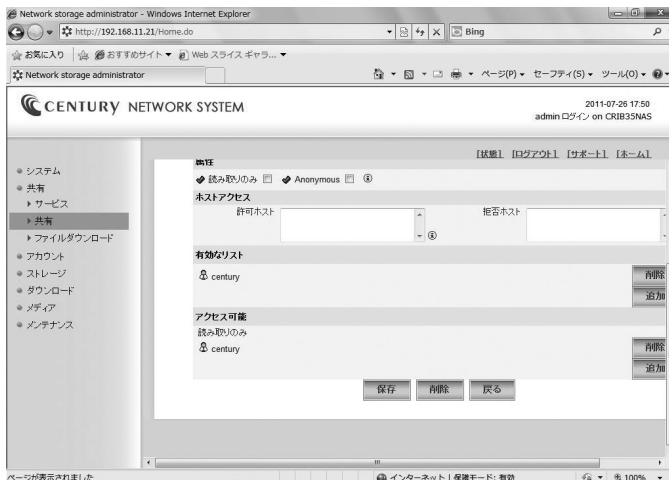
## ～共有のアクセス制限～

ユーザー、グループを作成すると、ユーザー、グループごとのアクセス制限をかけることが可能になります。

（4）共有名をクリックします。

（5）［共有の更新］になりますので、右上の【CIFS/SMB】タブをクリックします。

（6）Anonymous（匿名）のチェックを外すと、リストの追加画面が表示されます。

追加 をクリックすると、登録されているユーザー /グループが表示されます。

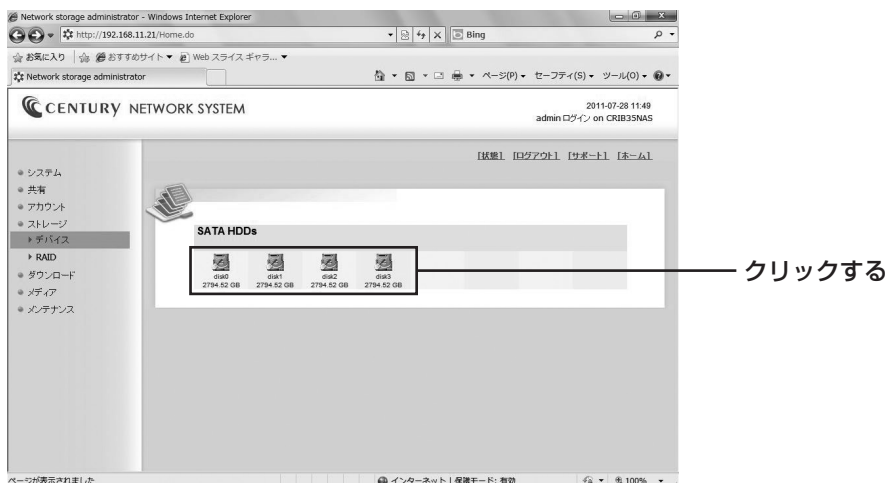
（7）追加したいユーザーまたはグループをクリックします。

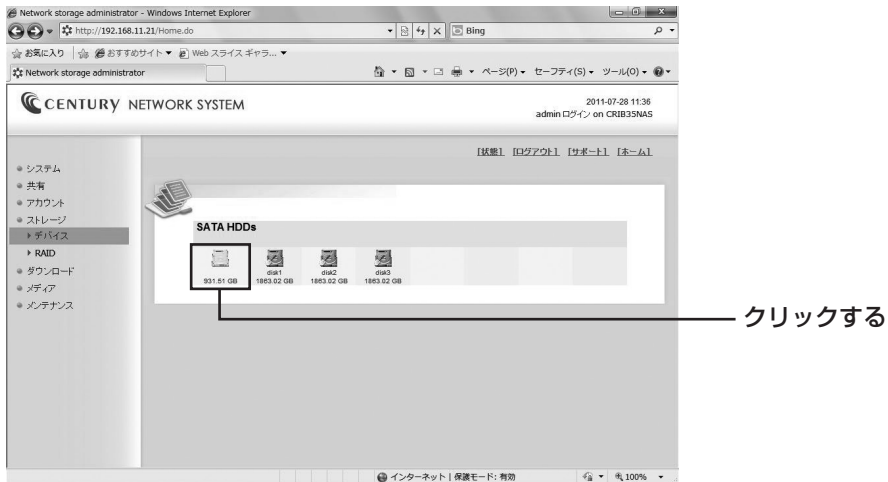
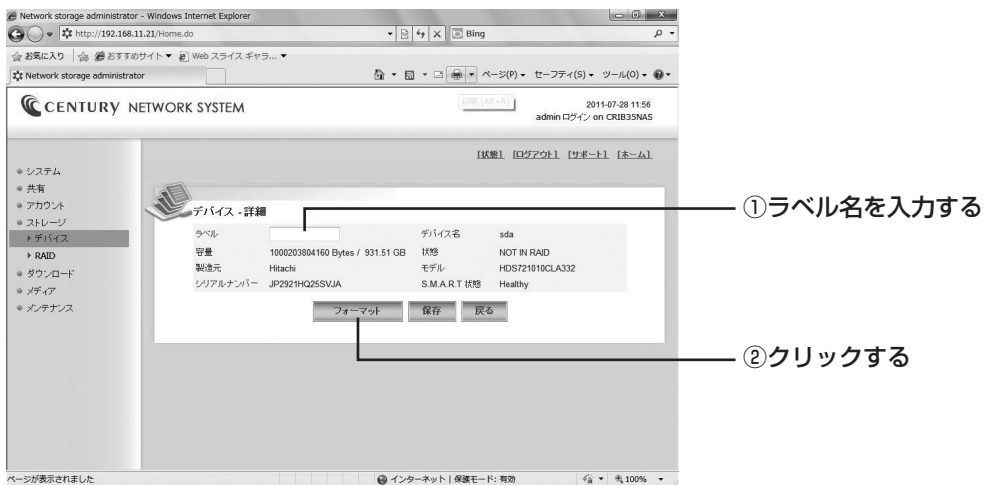
（8）「アクセス可能」リストに選択したユーザーが表示されます。

この状態で 保存 をクリックすると、この共有は「admin」と「century」のみが利用できるフォルダになります。

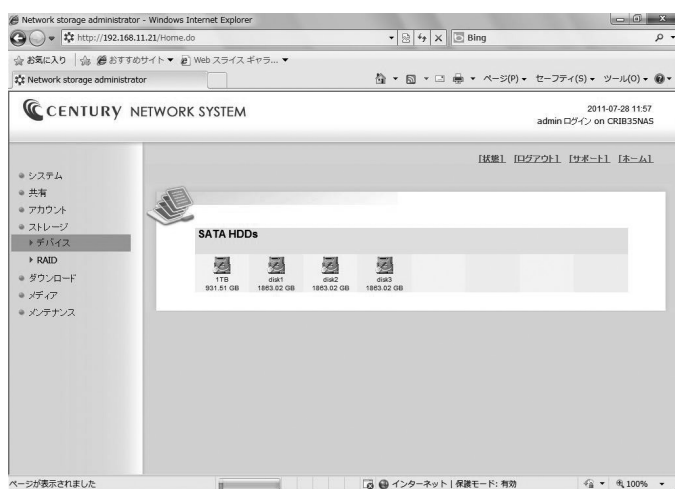
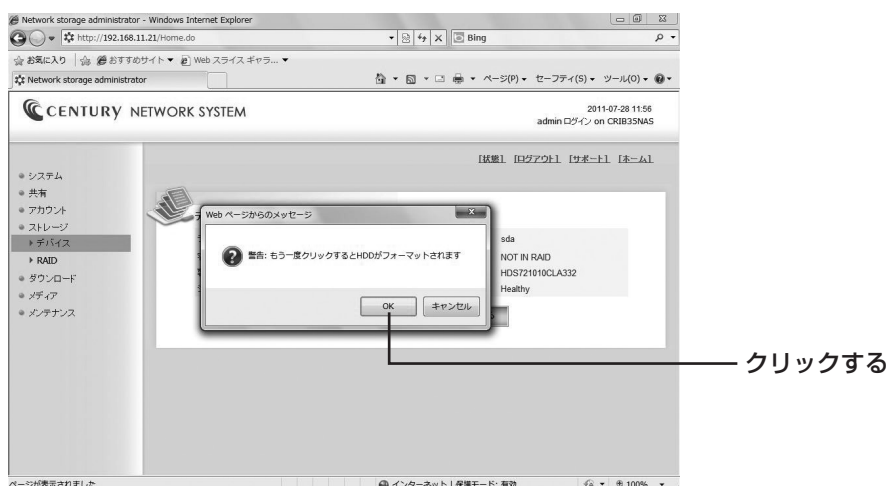
**●さらに“読み取りのみ”に追加した場合**

この状態だと、読み書きできるのは「admin」、読み取りのみ可能なのが「century」というフォルダになります。

## デバイス

HDD情報の閲覧やフォーマットを行います。

（1）HDD一覧のアイコンをクリックすると、HDDの詳細情報が表示されます。

※ 戻る をクリックするとHDD一覧に戻ります。

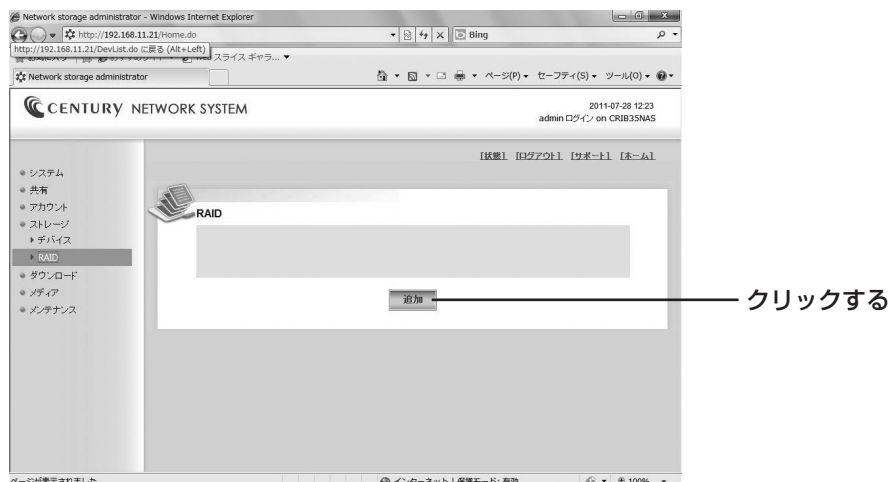
（2）あとから空のHDDを接続すると、フォーマットされていないため違うアイコンで表示されます。

アイコンをクリックすると、通常の閲覧以外にフォーマットが選択できるようになります。

適当なラベル名（このラベル名はRAIDを作成すると変更されてしまうので、適当なもので構いません）を入力し、 フォーマット をクリックします。

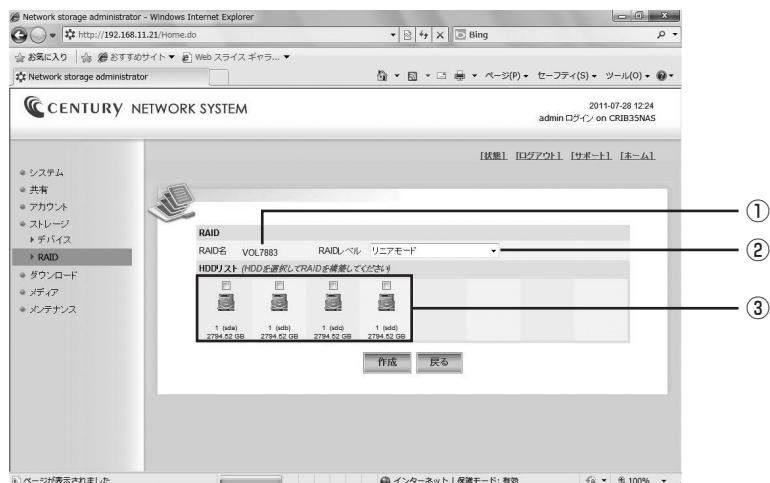
（3）確認ダイアログが表示され、 OK をクリックするとHDDがフォーマットされます。

すべてのアイコンが同じフォーマット済み表示になりました。

# RAID

RAIDの構築と情報の閲覧を行います。

## ■RAIDの構築方法

（1）［ストレージ］→［RAID］を選ぶと［RAID］になります。

追加 をクリックします。

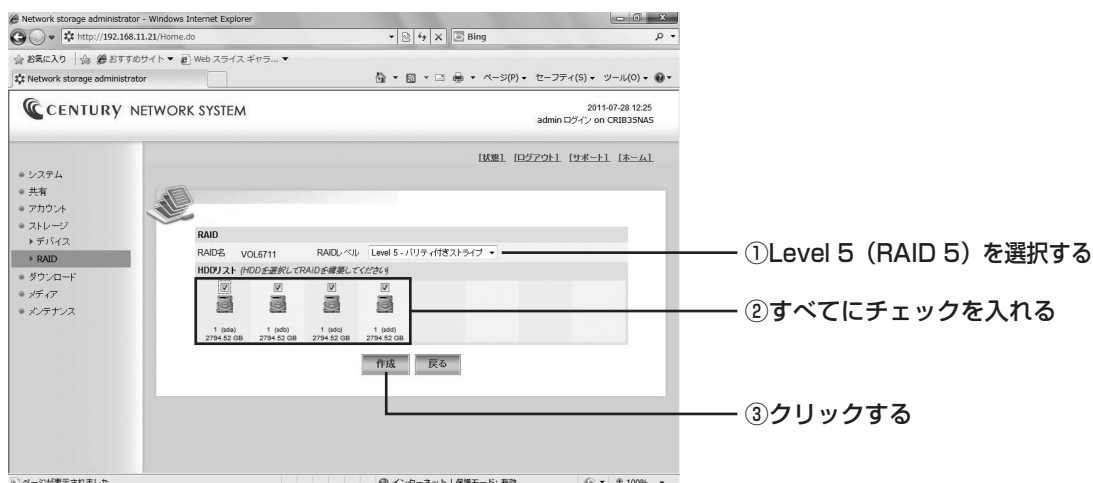
（2）RAID作成画面が表示されます。

①**RAID名**：自動的にVOLxxxx（xはランダムな数字）が割り当てられます。

②**RAIDレベル**：RAIDレベルの設定をプルダウンで選択します。

リニアモード
Level 0 - ストライプ
Level 1 - ミラー
Level 5 - パリティ付きストライプ
Level 10 - ミラードストライプ

→「RAID（RAIDレベル）の説明」（P.62）

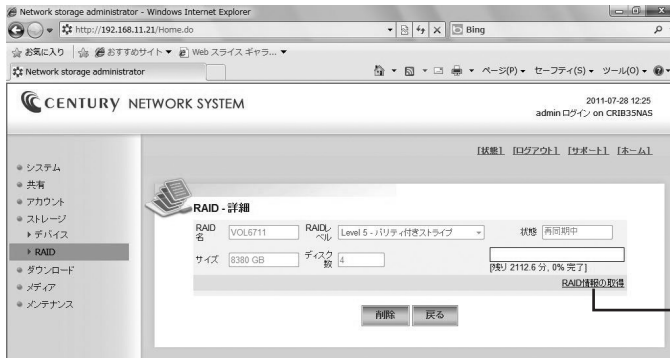
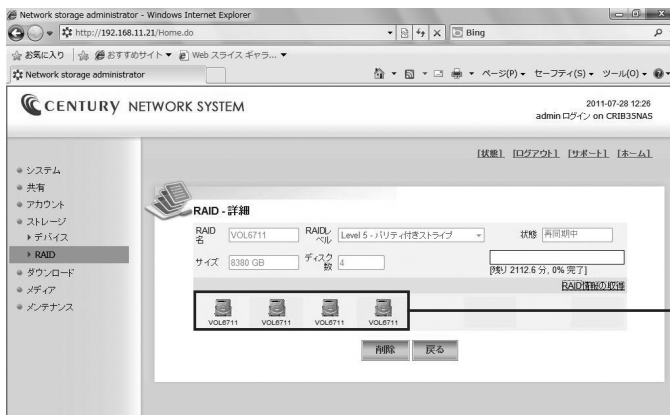
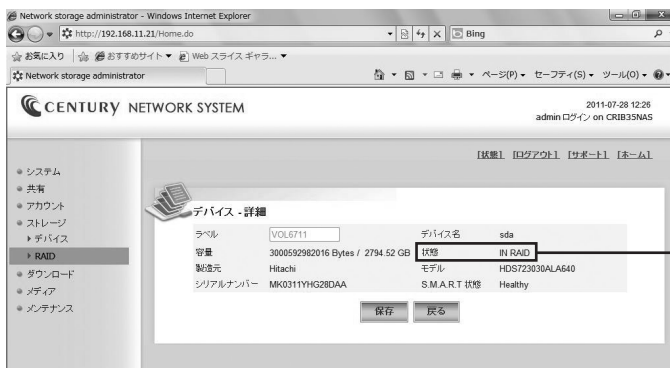
③**HDDリスト**：RAIDに利用するHDDにチェックを入れます。

（3）RAID 5で4台すべてのHDDを利用する場合は次のような画面になります。

 をクリックするとRAIDが作成されます。

⚠注意

RAID 5を構築する場合、最初にパリティが作成されます。
3TBのHDD4台で行った場合、パリティの完成までおよそ24時間かかります。→P.66

（4）RAIDのアイコンをクリックすると、現在のRAIDの情報が表示されます。

（5）RAID詳細画面の【RAID情報の取得】をクリックすると、RAIDに所属しているHDDメンバが表示されます。

HDDのアイコンをクリックすると、HDDの詳細情報が表示されます。

状態が“IN RAID”になっています。

## RAID（RAIDレベル）の説明

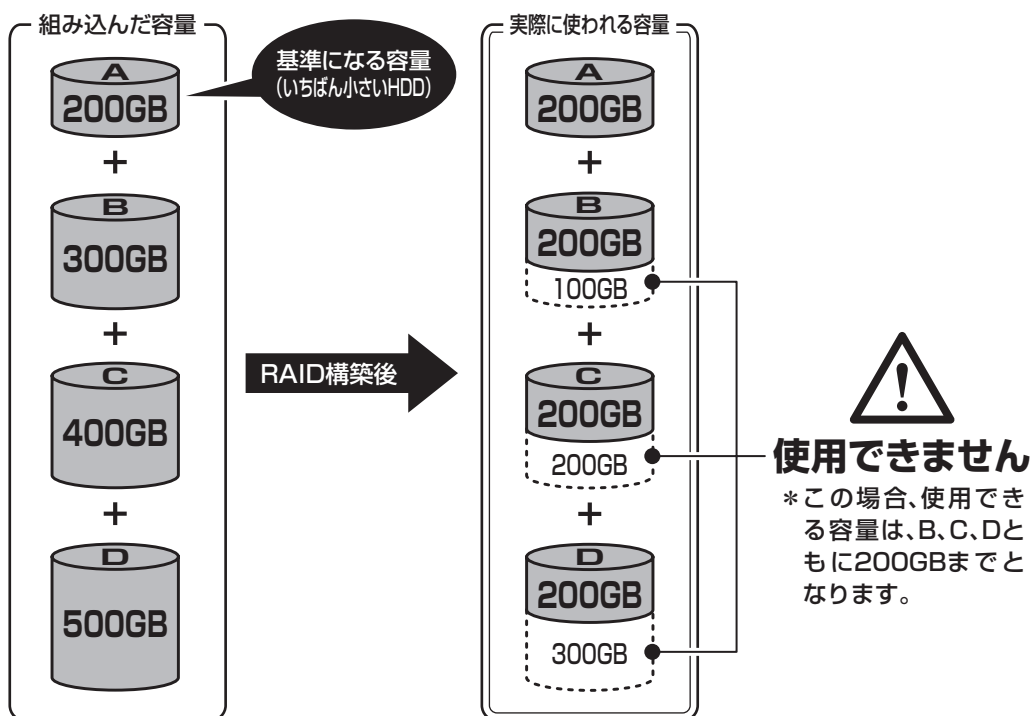
### RAIDって何なの？

RAIDは「**R**edundant **A**rrays of **I**nexpensive **D**isks」の略称で「レイド」と呼び、複数のHDDがつながったものを、1台のHDDのように扱って管理・運用する技術のことです。
例えば、3TBのHDDを２台組み込んで6TBの容量として認識させたり、２台の同じ容量のHDDを１台とみなして、双方に同じデータを書き込むことができます。
これにより、HDDへのアクセスを高速化したり、HDDクラッシュ時におけるデータの保全を向上することができます。

### ■RAIDを構築する際の注意事項

・RAIDを構築する場合、できるだけ同じ型番のHDDをご利用ください。
・RAIDを構築する場合、すべてのHDDの容量から均等に容量が使われます。
　異なる容量のHDDでRAIDを構築した場合、利用できる容量はもっとも小さいHDDを基準に計算されます。

#### ～ RAID構築時のHDD容量の一例 ～

200GB、300GB、400GB、500GBの4つのHDDを用いた場合、最小容量の200GBを基準にしてRAIDが構築されます。

## ～例えばこんな使い方～

**本製品は内部に複数のRAIDボリュームを作ることができますが、PCからは共有の部分しか認識されません。**

例えば、

〔1〕3TBのHDD 2台をRAID 1で構成（有効容量3TB）
〔2〕3TBのHDD 2台をリニアモードで構成（有効容量6TB）

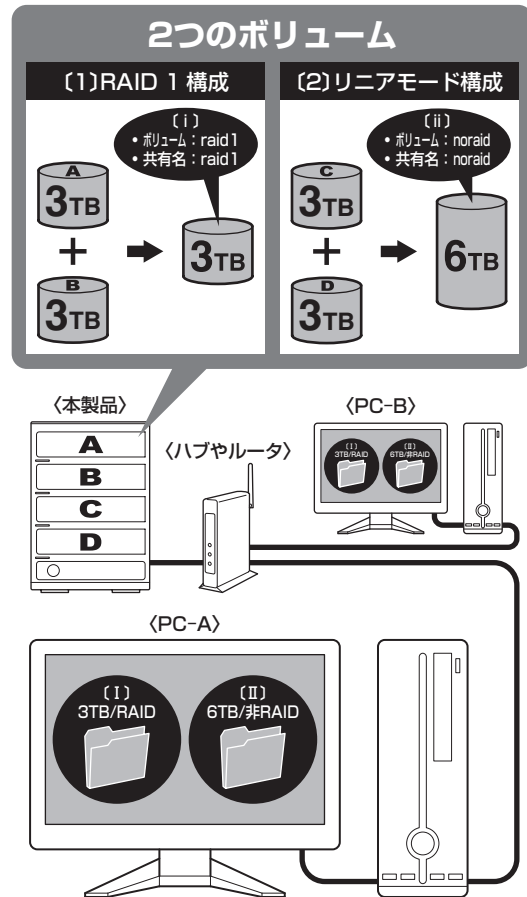
という２つのボリュームを作成したとします。
これに、

〔ｉ〕RAID 1の
- ボリューム：raid1
- 共有名：raid1

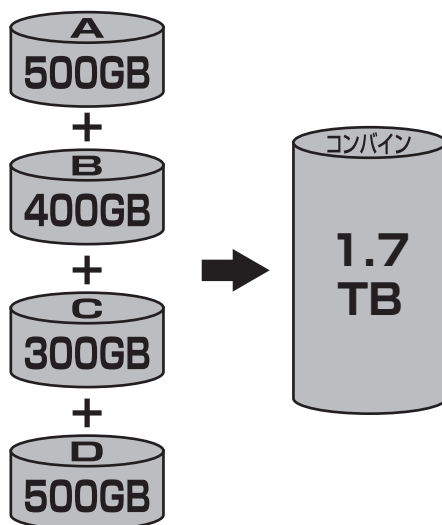
〔ii〕リニアの
- ボリューム：noraid
- 共有名：noraid

という共有をそれぞれ作成すると、

〔Ⅰ〕3TBまでしか使えないけれどRAID 1の共有フォルダ
〔Ⅱ〕6TBまで使えるけどRAIDではない共有フォルダ

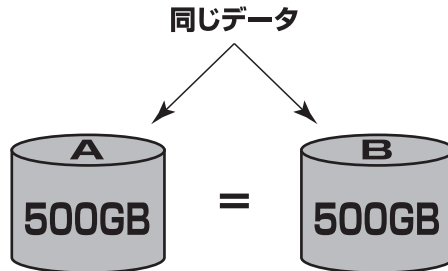
といった具合に、フレキシブルなHDDの運用ができます。

## ■リニアモード

複数のHDDを連結して使用します。
各HDDをつないで1つのHDDに見せかけます。この構成に限り、異なる容量のHDDで構築してもHDDの容量が無駄になりません。
RAID 0同様、パリティやミラーリング等のデータ保護処理は行われませんので、どれか1つのHDDが故障するとデータがすべて失われます。
また、HDDを1台だけで使用する場合もこのモードを利用します。

～リニアモード～

## ■RAID 1（ミラーリングモード）

複数のHDDに同じデータを書き込んでデータの安全性を確保します。
同じ内容を複数のHDDに書き込むため、HDDが1台壊れてもデータが損なわれません。

**複数のディスクに同じ内容を書き込むため、利用可能な容量は1台分になります。**
※この構成にはHDDが2台以上必要です。

～RAID 1～

500GBのHDDを2台使用すると500GBのHDD1台のボリュームとして認識される。

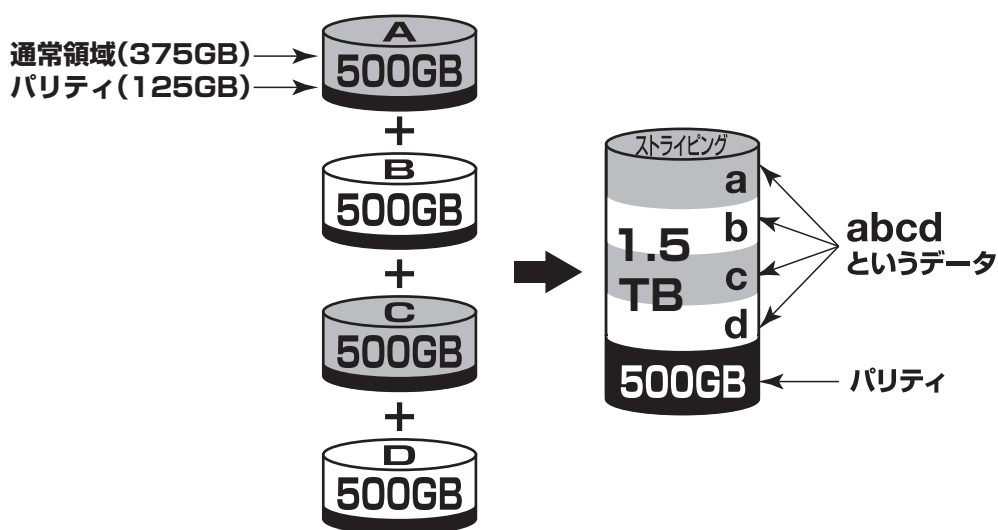
⚠注意

RAIDはデータの安全性を確保するための機能ですが、100%のデータ保証をするものではありません。
万が一（落雷、火災等の物理的損害、誤操作やウィルス等によるデータの改ざん、消去）に備え、重要なデータは別媒体へのバックアップをお勧めします。

## ■RAID 5（パリティ付きストライプモード）

複数のHDDに分散読み書き＋データパリティでデータ保護を行います。
HDDを並列で動作させるため、高速な読み込みや書き込みが可能になります。
それぞれのHDDにパリティと呼ばれる領域を確保し、そこにデータパリティを置くことでRAIDメンバのHDDのどれか1台が故障してもデータが読み込めるようになります。

**構成したRAIDメンバのHDDの1台分の容量がパリティとして使用されるため、全体の容量からHDD1台分を差し引いた容量が利用可能な容量となります。**
※この構成ではHDDが3台以上必要です。

～RAID 5～

500GBのHDDを4台使用すると1.5TBのボリュームとして認識される。
各HDDからパリティ領域を均等に使用する。

⚠注意

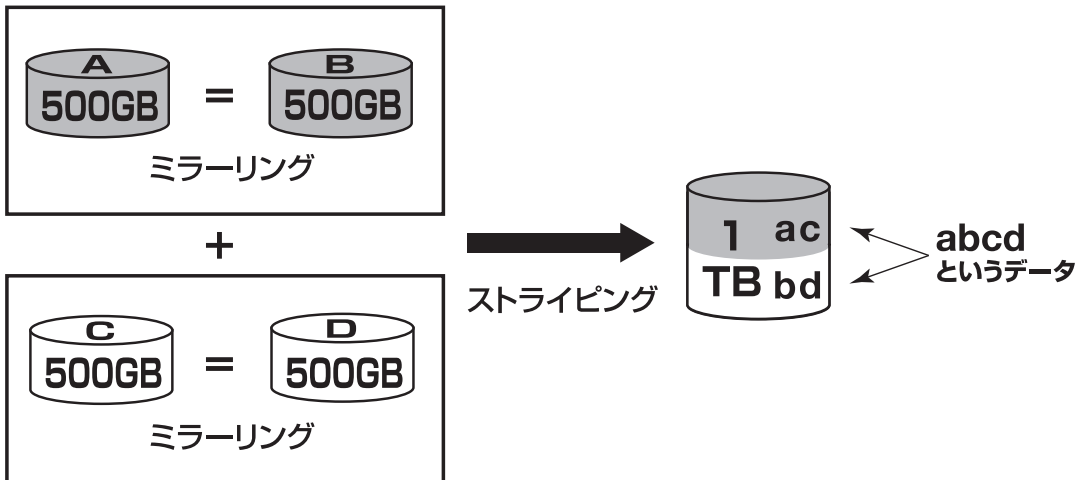
RAIDはデータの安全性を確保するための機能ですが、100%のデータ保証をするものではありません。
万が一（落雷、火災等の物理的損害、誤操作やウィルス等によるデータの改ざん、消去）に備え、重要なデータは別媒体へのバックアップをお勧めします。

⚠注意

RAID 5を構築する場合、最初にパリティが作成されます。
3TBのHDD4台で行った場合、パリティの完成までおよそ24時間かかります。

## ■RAID 10（ミラードストライピングモード）

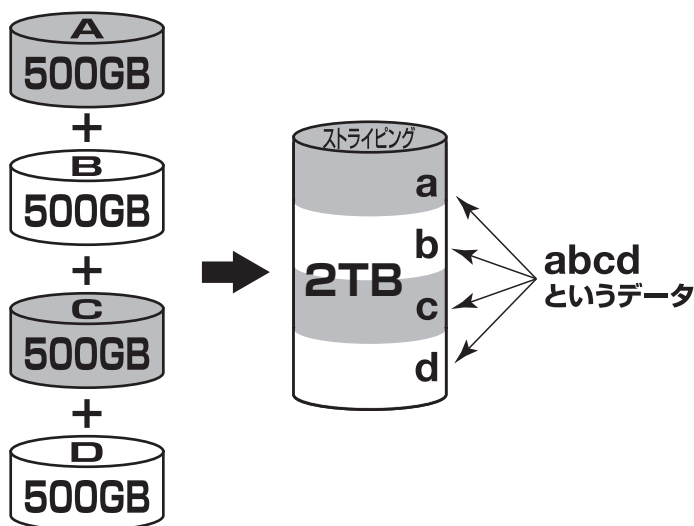
2台のHDDでミラーリングを構築し、それをストライピングします。
2台のHDDをRAID 1（ミラーリング）して、それをさらにRAID 0（ストライピング）で高速化します。

**2台ずつペアになったHDDに同じ内容を書き込むため、利用可能な容量は全体の容量の半分になります。**
※この構成ではHDDが4台必要です。

500GBのHDDを4台使用すると1TBのHDD1台のボリュームとして認識される。

RAIDはデータの安全性を確保するための機能ですが、100%のデータ保証をするものではありません。
万が一（落雷、火災等の物理的損害、誤操作やウィルス等によるデータの改ざん、消去）に備え、重要なデータは別媒体へのバックアップをお勧めします。

## ■RAID 0（ストライプモード）

複数のHDDに分散して読み込み/書き込みを行います。
HDDを並列で動作させるため、高速な読み込みや書き込みが可能になります。
RAID 5やRAID 3と違いパリティ領域がないため、どれか1つのHDDが故障するとデータがすべて失われます。
パリティ領域を必要としない分、すべてのHDD容量が利用可能です。
**※アクセス速度の面であまりメリットがないため、この構成よりも「リニアモード」（P.64）を使われることをおすすめします。**

～RAID 0～

**★センちゃんのRAID豆知識★**

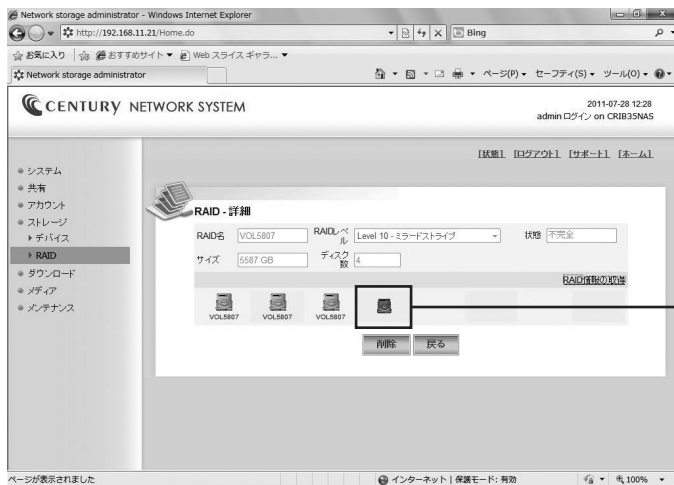
**セ：どうしてRAID 0（ストライプ）はRAIDじゃないのにRAIDという名前がついてるのラ？**

→RAIDの略称のいちばん最初Redundant（余分、冗長）という言葉が表すとおり、RAIDは余分な容量を設けて信頼性を上げ、ひいてはデータの消失トラブルを防ぐためのものです。

こうした機能のないRAID 0（ストライプ）がRAIDと呼ばれるのは、RAID 3以降に使われている分散書き込み技術だからであるようです。
また、RAID 0は「ゼロ」なのでRAIDに満たない、という解釈もあるようです。

# ディスクが故障したら！

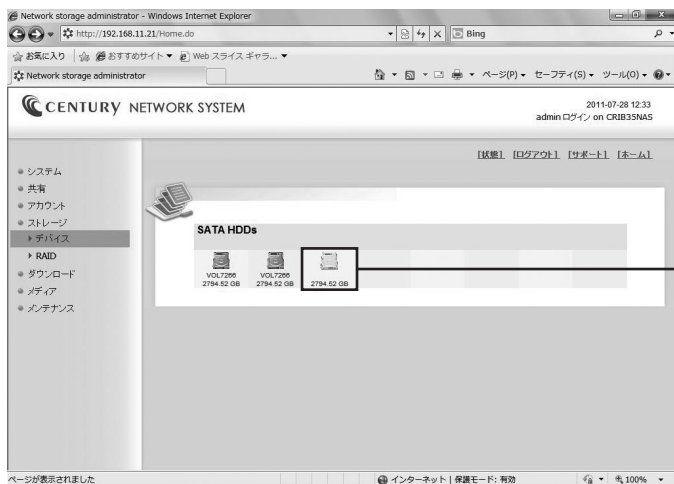
## ■ディスク故障の見分け方

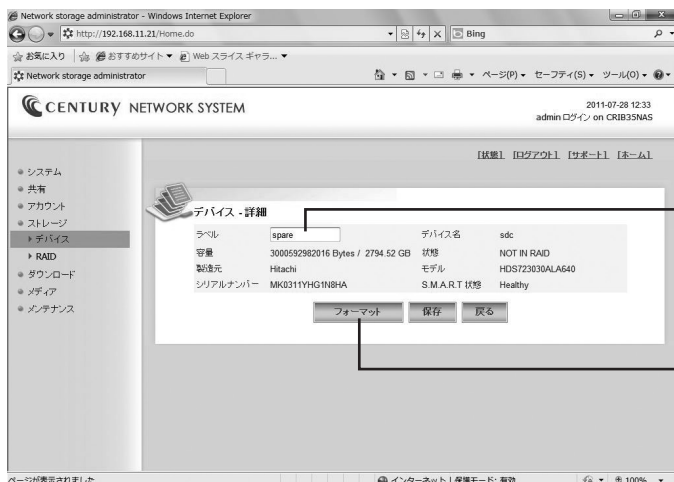
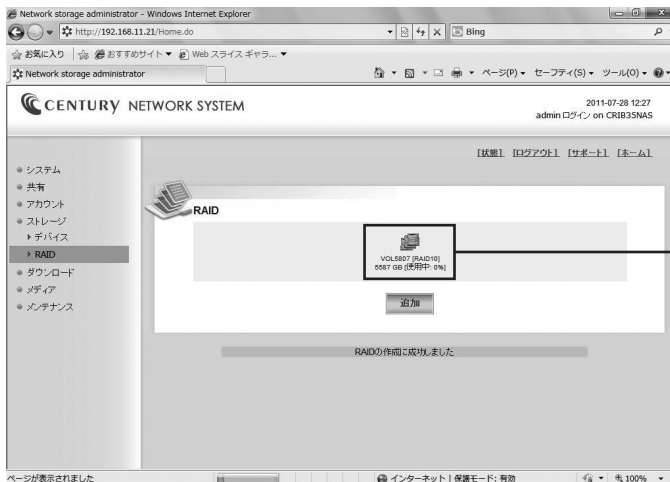
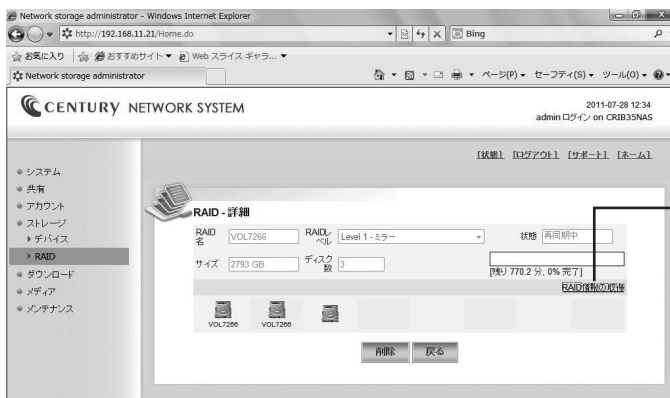
- もとよりHDDに通電していない場合は、フロントパネルのステータスLEDが点灯しません。
- 頻繁にリビルドが発生している場合は、HDDに不良セクタが発生している可能性があります。「RAID情報の取得」（P.61）で、どのディスクに対してリビルドを行っているかを確認しましょう。
- デバイス/RAIDで正しく認識しているかどうかを確認しましょう。通電していても認識していないと表示されません。
- RAIDが完全でない場合、[ストレージ] → [RAID] で、RAIDアイコンが「黄色」で表示されます。この場合、RAIDアイコンをクリックしてRAID情報の取得を選択すると、どのHDDが故障しているかを「赤色」で表示します。

HINT デバイスでHDDのS.M.A.R.T.状態を確認しましょう。
事前にHDDの故障を察知することができるかもしれません。

## リビルド方法

HDDの故障が特定できたらリビルドを行いましょう！
基本的に、故障したものと同じ、または故障したものより大きい容量のHDDが必要です。
また、HDDを交換しても自動的にはリビルド（RAID再構築/再同期）されませんのでご注意ください。

### ■手順

（1）「シャットダウン/再起動」（P.36）からシャットダウンを行い、本製品の電源を切ります。
（2）故障したHDDを新しいHDDと交換します。
（3）本製品の電源を入れて起動します。
（4）電源を入れても未フォーマット状態ですので、リビルドは行われません。

未フォーマットHDDをクリックします。

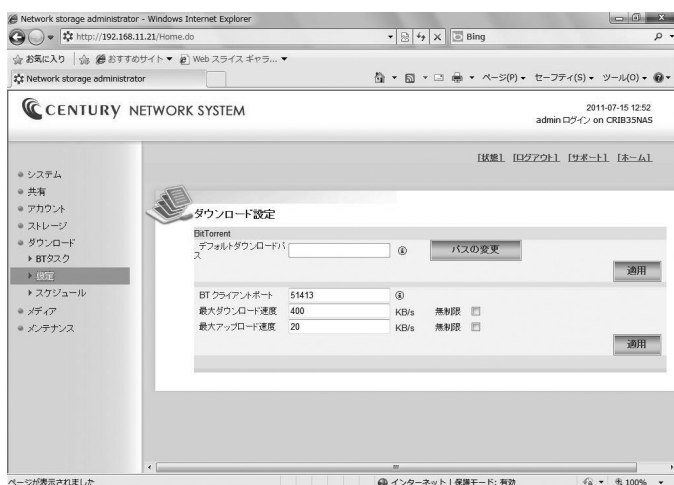
（5）未フォーマットHDDをフォーマットします。ラベルに何か適当な半角英数字を入れて フォーマット をクリックします。

（6）フォーマットが完了すると、自動的に再同期が始まります。

［ストレージ］→［RAID］で該当のRAIDアイコンが青く変化していることを確認しましょう。
また、RAIDアイコンをクリックすると［詳細］が表示されます。

## ■USB HDDとeSATA HDDの扱い

- **USBフラッシュメモリ：手順なしで共有に表示されます。FAT/FAT32形式のみ認識可能です。**
- **USB/eSATA HDD：内蔵HDDと同じです。PC/Macとのデータ共用はできません。**

※制限事項として、内蔵HDDすべてが格納済み（4台）でないと正しく動作しない可能性があります。
RAID（0、1、5、10）は操作的には設定可能ですがサポート対象外です。リニアモードのみ、動作を確認しております。
したがって、内蔵HDDとまたがってRAIDを構築することもできません。

**本製品に接続して使用した外付けUSB/eSATA HDDを取り外してPCに直接接続しないでください。本製品とPCではファイルシステムが異なるため、PCに接続するとデータが破損するおそれがあります。**
**データが破損した場合、本製品に接続しなおしてもデータは復旧されませんので、十分ご注意ください。**

# 7. ダウンロード

この機能は本製品ではサポートしません。

お問い合わせいただいてもお答えできませんので、あらかじめご了承ください。
また、自己責任においてお使いになる場合の注意点として、

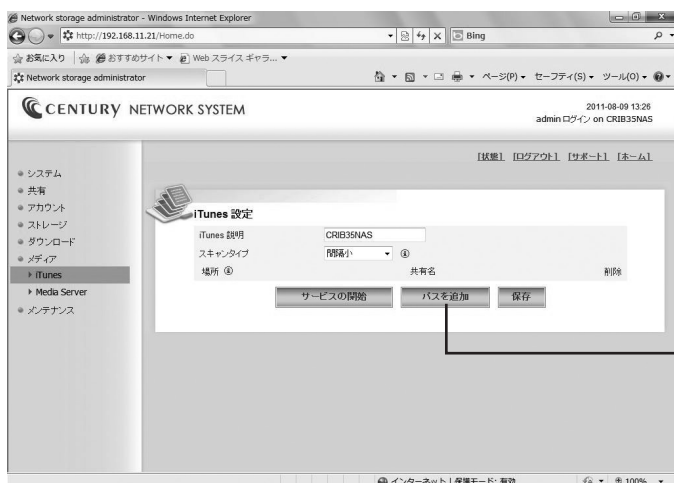
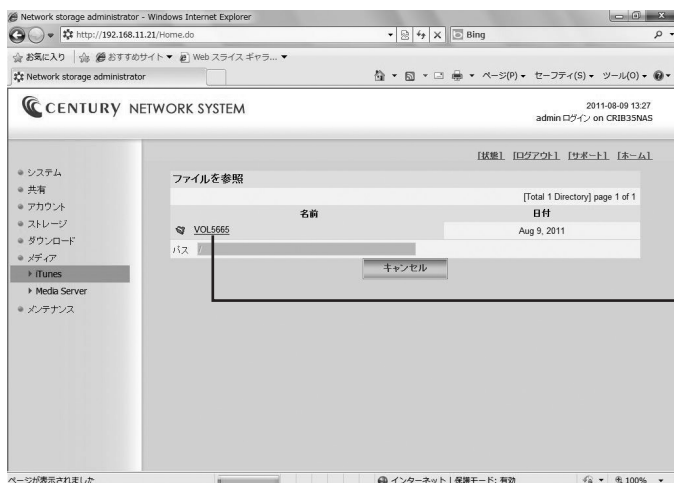
- **初期設定ではサービスは「無効」になっています。**
- **サービスを開始するには有効なデフォルトダウンロードディレクトリが必要になります。**
- **お使いの環境によってはルータからのポート転送が必要になる場合があります。**

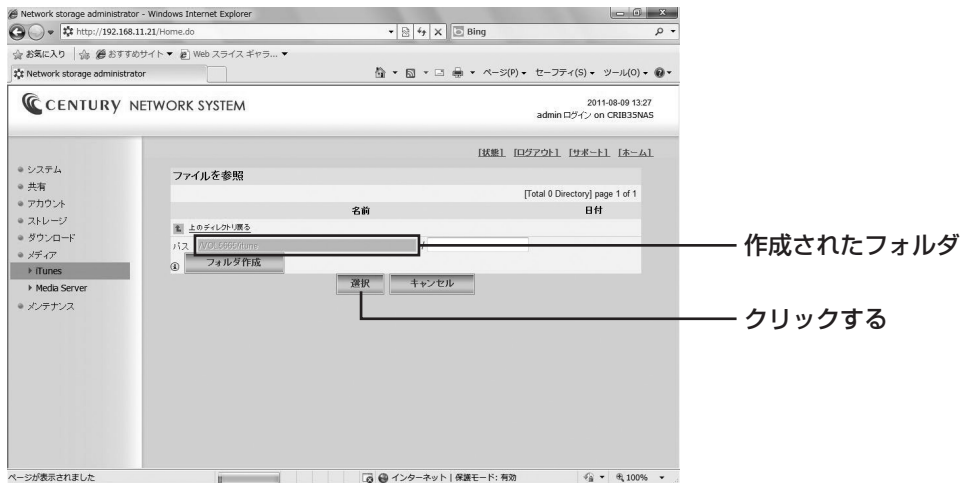
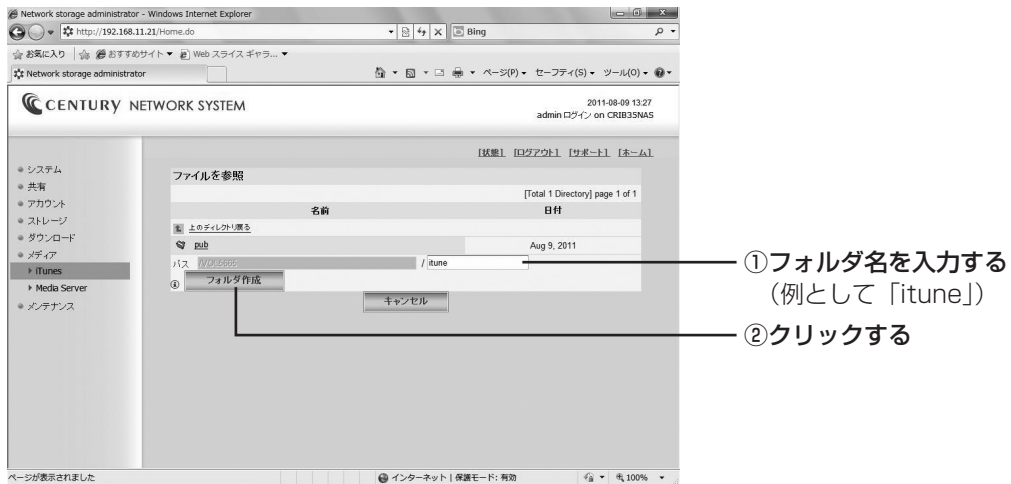
この機能はアップデートの過程で廃止する可能性があります。あらかじめご了承ください。

## iTunes

iTunesサーバー機能を設定します。
出荷時は停止状態になっています。動作させるには、iTunesサーバー機能で共有させたい曲データを保存するフォルダを作成または指定する必要があります。

### ■iTunesサーバーの設定方法

（1）［パスを追加］をクリックすると、［共有］と同じようにファイルを参照する画面が表示されます。

【ボリューム】をクリックすると、フォルダ作成画面が表示されます。

（2）①→②の順でフォルダを作成します。

ここでは、「itune」というフォルダが作成されました。
選択 をクリックすると元の画面に戻ります。

（3）設定を保存し、フォルダを共有します。

②

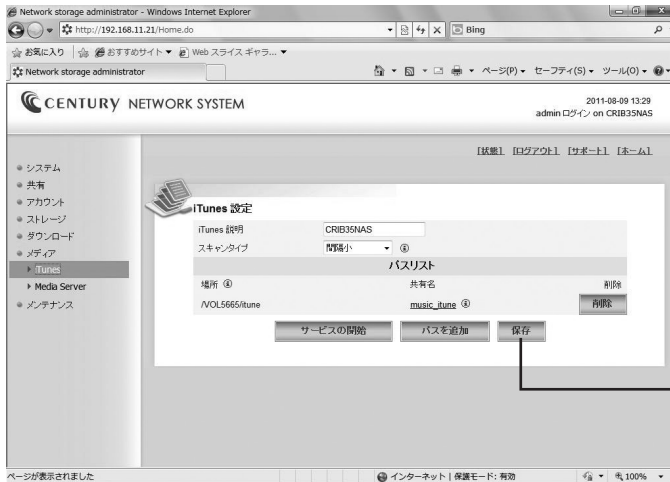
①

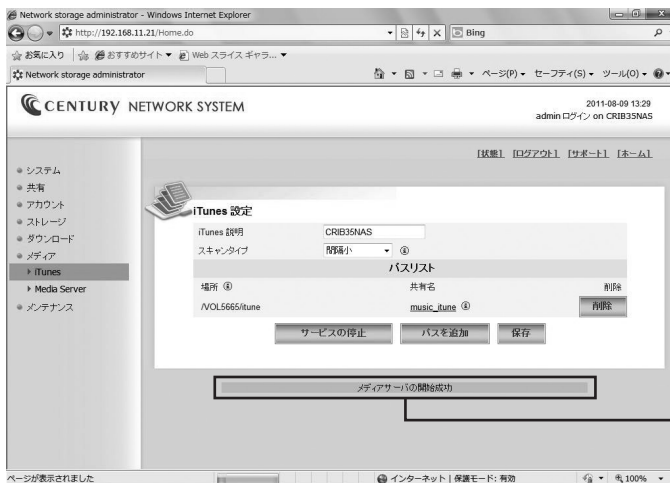
**①この画面で必ず 保存 を行ってください！**

このあと、作成したフォルダに共有設定を行いますが、そのまま共有をしてしまうと、パスの指定が消えてしまいます。

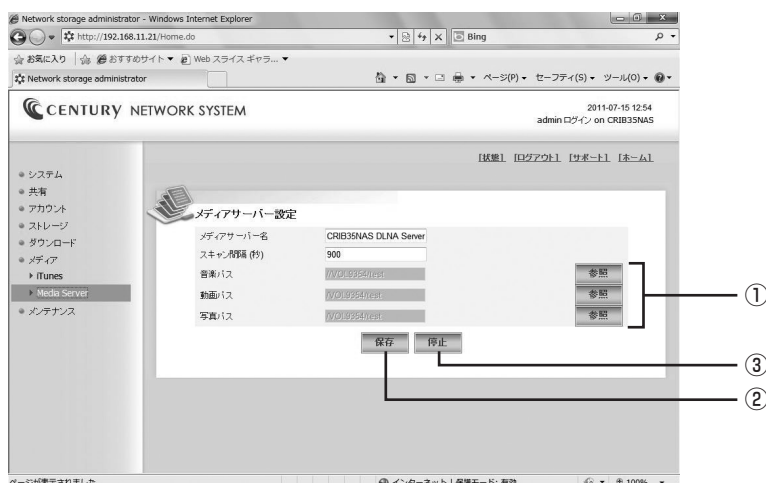
**② 共有 をクリックして指定したフォルダを共有します。**

（4）設定を変更せずに、そのまま 作成 をクリックしてください。

（5）再び［メディア］→［iTunes］に戻ると、パスリストが共有状態で登録されています。

サービスの開始 をクリックします。

（6）サービスが開始されます。

iTunesの共有に表示されるようになります。

# メディアサーバー

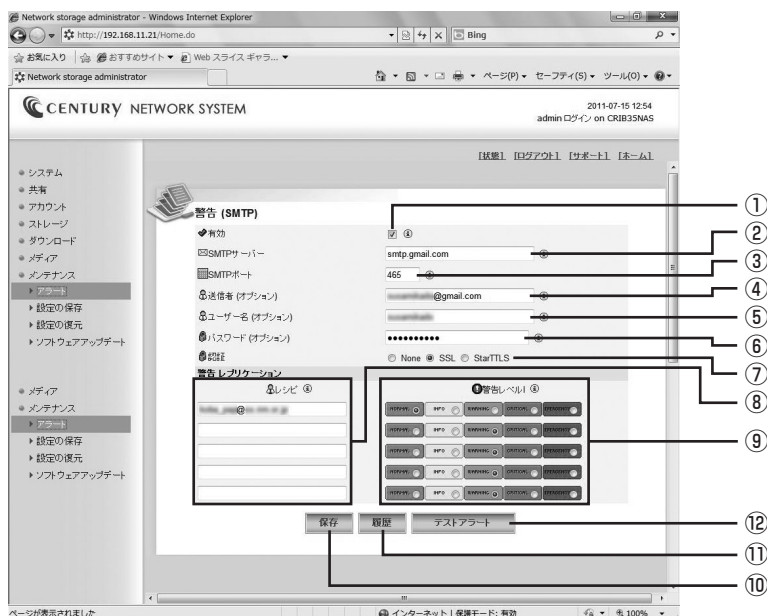
メディアサーバーの起動と停止、メディアフォルダの場所指定を行います。

①**音楽パス・画像パス・動画パス**：メディア配信するパスをそれぞれ設定可能です。
②**保存**：設定を保存します。
③**起動/停止**：メディアサーバーの起動と停止を行います。

## ■メディアサーバーの対応フォーマット

・音楽：mp3, flac, wma, asf, fla, flc, m4a, aac, mp4, m4p, wav, ogg
・動画：mpg, mpeg, avi, divx, asf, wmv, mp4, m4v, mts, m2ts, m2t, mkv, vob, ts, flv, xvid, mov
・写真：jpg, jpeg

※再生するプレイヤーによっては、再生できないデータもあります。あらかじめご了承ください。

## ■アラート

アラートメールの送信設定を行います。

①**有効**：アラートメールを無効にします。※出荷時は「無効」に設定。

送信するメールサーバーによって設定は異なります。
一例として「gmail」を使ったアラート設定を下に掲載します（2012年12月現在）。

②**SMTPサーバー**：smtp.gmail.com
③**SMTPポート**：465
④**送信者**：gmailのメールアドレス
⑤**ユーザー名**：gmailのユーザー名
（ユーザー名@gmail.comがgmailのアドレスであればユーザー名）
⑥**パスワード**：gmailのパスワード
⑦**認証**：SSL
⑧**レシピ**：アラートを送信するメールアドレスを設定します。
⑨**警告レベル**：警告メールを送るレベルを設定します。
⑩**保存**：設定を保存します。
⑪**履歴**：警告ログを表示します。
⑫**テストアラート**：設定されたメールアドレスにテストアラートメールを送信します。

## ■設定の保存

システム設定のバックアップを行います。

 をクリックすると作成されます。

画面の指示にしたがってダウンロードしてください。

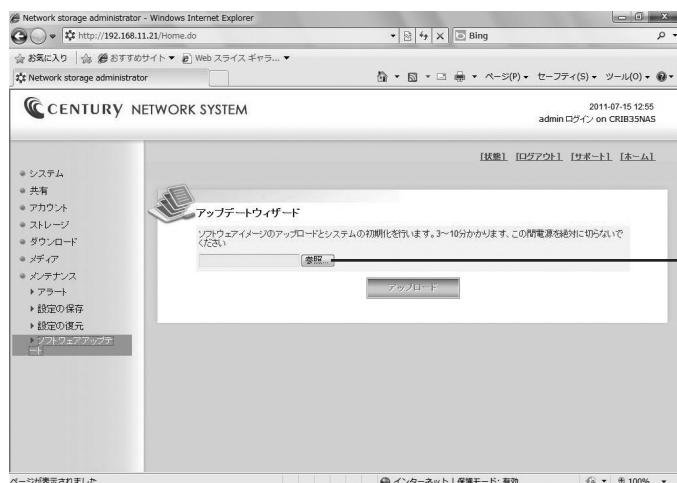
## ■設定の復元

設定の復元を行います。

①**以前の設定に戻しますか？**：ログインして変更する前の設定に戻します。
②**工場出荷時設定**：工場出荷時設定に戻します。
③**ユーザー設定をリセットします**：アップロードしたユーザー設定にリセットします。
　この処理のみ、画面下の 参照... から、「設定の保存」（P.81）で作成したファイルをアップロードしないと実行できません。

※異なるバージョンのファームウェア間では、バックアップファイルの互換性が保たれません。
　異なるバージョンのバックアップファイルは読み込まないように注意してください！

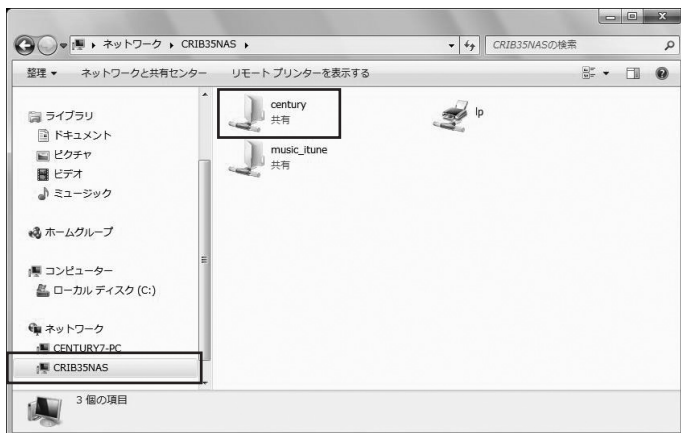
## ■ソフトウェアアップデート

ソフトウェアのアップデートを行います。

[参照...] をクリックしてアップデートするファイルを参照し、【アップデート】をクリックしてアップデートを行います。
また、アップデート中は絶対に電源を切らないでください。機器やデータを破損するおそれがあります。

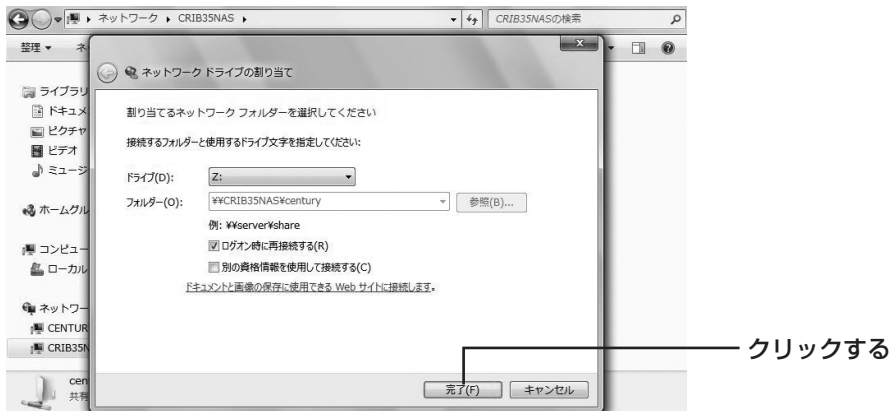
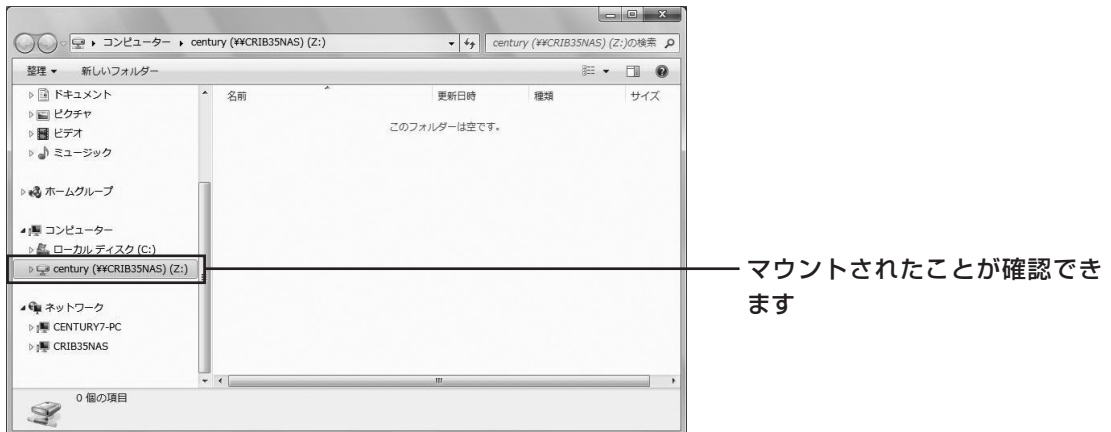
**MEMO** ファームウェアアップデートによっては、設定が工場出荷時にリセットされる場合がございます。
安全のため、あらかじめ各設定をメモした上でファームウェアのアップデートを行ってください。
また、設定の保存でバックアップしたファイルは、異なるファームウェア間では互換性がありません。あわせてご注意ください。

# ネットワークドライブのマウント

## ■Windows XP／Windows Vistaの場合

（1）マイコンピュータの中にネットワークドライブとして登録します。

すべての手順が完了すると、Windowsの場合はネットワークコンピュータの中に本製品が表示されるようになりますので、そこから利用します。
ここから共有名「century」を開き、ドラッグアンドドロップでファイルの保存や読み込みが可能ですが、より使いやすくするために、マイコンピュータの中にネットワークドライブとして登録しましょう。

（2）「century」を右クリックしてポップアップメニューを表示し、【ネットワークドライブの割り当て(M)...】をクリックします。

（3）ネットワークドライブの割り当てウインドウが表示されますので、［完了(F)］をクリックします。

（4）マイコンピュータの中にネットワークドライブがマウントされます。

これで、マイコンピュータから直接つながっているHDDのように、データの保存等が行えるようになりました。

## ■Mac OS 10.5 以降の場合

（1）あらかじめ本製品のIPアドレスを、管理画面の［ネットワーク］→［Port］で調べておきます。

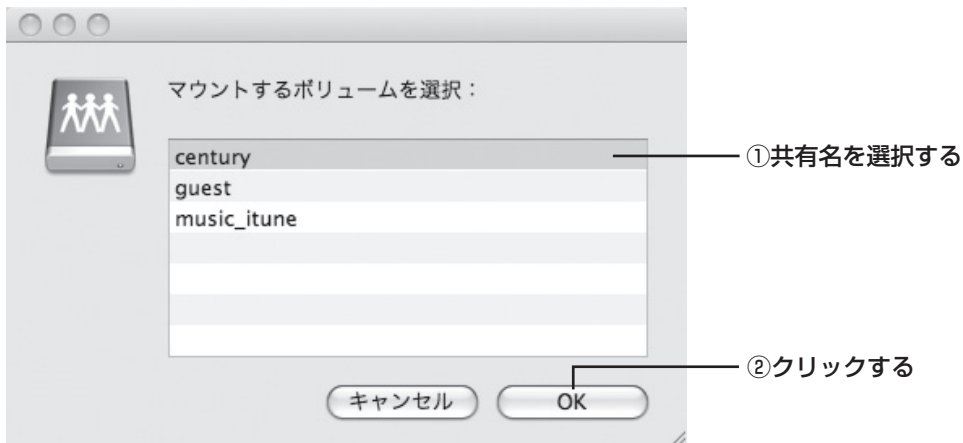
※画面の場合は「192.168.11.21」がIPアドレスになります。

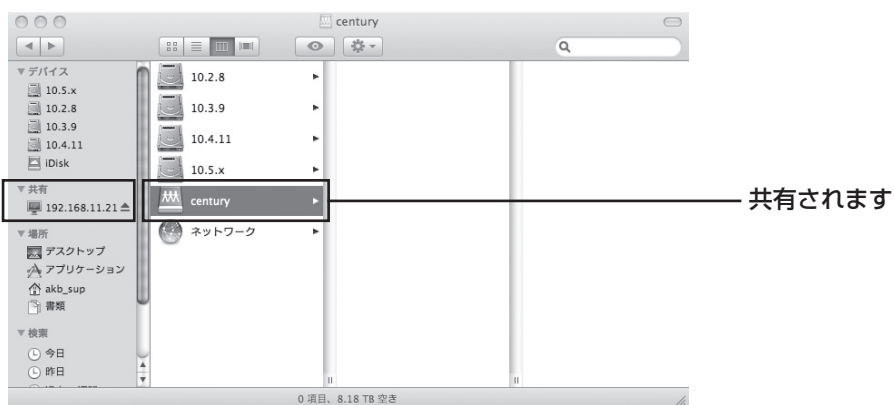
（2）メニューバーから【移動】→【サーバへ接続】を開き、サーバアドレスの欄に「smb://『（1）で調べたIPアドレス』」を入力します。

※この場合は（1）で調べたIPアドレスが「192.168.11.21」だったので、「smb://192.168.11.21」と入力します。

（3）認証画面が表示されます。

ここは“ゲスト”にチェックを入れて 接続 をクリックします。

（4）マウントするボリュームを選択します。

共有名を選択します。
※ここは共有名によって異なります。
※「guest」や「admin」という名前の共有は使用しないでください。

（5）共有が認識されます。

ここから、ドラッグアンドドロップでファイルの保存や読み込みが可能となります。

# 工場出荷時設定

## ■日付と時刻

- タイムゾーン　(GMT+09:00) Osaka,Sapporo,Tokyo
- 自動同期有効　NTPサーバー名　ntp.nict.jp

## ■ネットワーク設定

- ホスト名　CRIB35NAS
- ドメイン名　空白
- グローバルデフォルトゲートウェイ　DHCPサーバーから取得
- DNSサーバー　DHCPサーバーから取得
- DHCP（IP自動取得）　有効

## ■DHCPサーバー

- サービス無効

## ■DDNS

- 未設定（サポート対象外）

## ■NASのログイン画面にブラウザから入れない

→お使いのネットワークはIPの自動取得に対応していますか？
本製品は、IPの自動取得に対応しているネットワークに接続してご利用いただくことを前提としております。

## ■ネットワークの中に本製品が表示されない

→電源を入れた直後やつないだばかりのときは、DNSやドメインマスタの情報更新に若干時間がかかる場合があります。しばらく待ってからお試しください。
また、本製品のIPアドレスを直接入力するとアクセスできます。
※Windows 7の場合
あらかじめ「scanner_mini.exe」でIPアドレスを調べておき、「スタート」→「プログラムとファイルの検索」内に先頭に「¥」、続けてIPアドレスを入力します。
□例：「¥¥192.168.11.3」

## ■NASがマイネットワークから認識されない

→電源を入れた直後は、NASがネットワークに認識されるまでに若干時間がかかる場合があります。
NASのログイン画面は表示されてもマイネットワークから認識されないという場合は、そのまましばらくお待ちください。
※IPアドレスを直接打ち込んで表示する方法もございます。

## ■iTunesで認識したが何も入っていない

→iTunesに応答するのは、［メディア］→［iTunes］で指定したフォルダになります。
iTunesサーバー機能を利用する場合は、あらかじめこのフォルダに音楽ファイルを入れておいてください。
また、対応するのは音楽ファイルのみです。写真や動画ファイルは表示できませんので、あらかじめご了承ください。

## ■パスワードを要求されて使えないフォルダがある

→adminフォルダはパスワードを入力しないと利用できません。

## ■WindowsやMacで使用していたデータの入ったHDDをそのまま使うことはできますか？

→できません。使用する前にフォーマットする必要がありますので、あらかじめHDDのデータを別のメディアに退避しておく必要がございます。

## ■本製品で使用していたHDDをWindows/Macで読み込むことはできますか？

→できません。内蔵、USB、eSATAのどれもすべて本製品専用です。PCにつないだ場合、中のデータが破壊されて読めなくなります。
本製品でフォーマットしたHDDは、本製品以外の機器に絶対に接続しないでください。

## ■OSが混在しているLAN環境でも使用できますか？

→使用できます。ただし、違うOSどうしでファイルを共有する際に、ファイル名に機種依存文字を使用していると、相手のOS上で文字化けが発生しますのでご注意ください。

## ■adminのパスワードを忘れてしまった

→設定を工場出荷時状態に戻す必要があります。
シャットダウンしてフロント電源スイッチを切った状態（背面電源スイッチはONです）で、背面のリセットボタン（P.7）を細いペンなどで押しっぱなしにし、フロント電源スイッチで電源を入れ、5秒間経過したら離します。
これでadminのパスワードは最初の「admin」に戻ります。ただし、それまでの設定はすべて工場出荷時に戻りますので、あらかじめご了承ください。
※HDDのデータはそのままで、設定のみ初期化されます。

## ■間違えて削除してしまったのですがCRIB35NASのゴミ箱はどこですか？

→ネットワーク経由でのファイル削除はゴミ箱等を経由せず、直接削除となってしまいます。復元等は行えません。
また、誤操作だけでなく、落雷等やウイルスなどのデータ改ざん等、装置全体に影響を及ぼす可能性は他にもございます。
基本的には別のメディアに対してバックアップを定期的に取っていただき、万が一の場合に対処するようにしてください。

## ■電源をOFFにする場合、フロント電源ボタンをOFFにするだけでいいですか？

→ブラウザ側からシャットダウン処理（P.36）を行ってからフロント電源ボタンを押してください。
シャットダウン処理を行わないとデータ破損につながるおそれがあります。

## ― ご注意 ―

1．本書の内容の一部または全部を無断転載することは固くお断りします。
2．本書の内容については、将来予告なく変更することがあります。
3．本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなど、お気づきの点がございましたらご連絡ください。
4．運用した結果の影響については、【3.】項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。
5．本製品がお客様により不適当に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはセンチュリーおよびセンチュリー指定のもの以外の第三者により修理・変更されたこと等に起因して生じた損害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。


※This product version is for internal Japanese distribution only.
It comes with drivers and manuals in Japanese.
This version of our product will not work with other languages operating system and we provide help support desk in Japanese only.

【販売・サポート】
株式会社 センチュリー

■サポートセンター
〒277-0872 千葉県柏市十余二翁原240-9

【TEL】04-7142-7533（平日 午前10時～午後５時まで）
【FAX】04-7142-7525

【Web】http://www.century.co.jp
【Mail】support@century.co.jp

**～お願い～**
修理をご依頼の場合、必ず事前にサポートセンターにて受付を行ってから発送をお願いいたします。

## 弊社商品についてのご意見・ご感想をお聞かせください

このたびはセンチュリー商品をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。
今後の商品開発等の参考にさせていただきたいと思いますので、商品についてのご意見・ご感想をお聞かせください。
下記eメールアドレス、またはURLにて受け付けております。どうぞよろしくお願いいたします。

【Mail】call@century.co.jp
【Web】http://www.century.co.jp/support/contact/support.html